

平成29年

全衛連ストレスチェックサービス実施結果報告書

平成30年9月

公益社団法人 全国労働衛生団体連合会

メンタルヘルス専門委員会

## はじめに

公益社団法人 全国労働衛生団体連合会（全衛連）は、平成 22 年度から、定期健康診断に併せてストレスチェックを実施することを基本として「全衛連メンタルヘルスサービス」を提供してきた。

そして、平成 27 年 12 月からは、労働安全衛生法にストレスチェック制度が創設されたことに伴い、同制度に適合するべく一部サービス内容を変更し、「全衛連ストレスチェックサービス」としてサービス開始し、以来 2 年が経過した。

全衛連ストレスチェックサービスでは、受検者に対しては、個人評価結果「あなたのストレスプロフィール」を作成して提供し、ストレスチェックをきっかけに自らのストレスの状況に気づいていただき、また、受検者のうち高ストレスと判定された人に対しては医師面接あるいは保健師等による相談指導を行っている。

一方、事業者に対しては、ストレスチェック結果に基づく職場ストレス状況についての分析結果「職場評価結果報告書」を作成し、職場改善の取組のための基礎資料を提供している。

そして、これらのサービスを健康診断と併せて実施することにより、労働者の心とからだの健康をトータルで考える機会となり、それが、全衛連メンタルヘルスサービスの特徴となっている。

全衛連は、サービス提供開始以来、ストレスチェックの実施状況、医師・保健師等による面接指導状況、職場改善指標について年度報として公表してきたが、平成 28 年からは年報に改め、本報告書は、平成 29 年の 1 月～12 月の 1 年間について取りまとめたものである。

なお、報告書は第 1 部を「報告の概要」、第 2 部をデータも収録した「ストレスチェック結果の詳細」の 2 部構成とした。

平成 30 年 9 月

公益社団法人 全国労働衛生団体連合会  
メンタルヘルス専門委員会  
委員長 黒木 宣夫

公益社団法人 全国労働衛生団体連合会  
メンタルヘルス専門委員会

- 委員長 黒木 宣夫 東邦大学 名誉教授
- 荒井 稔 日本私立学校振興・共済事業団  
東京臨海病院 診療部 精神科部長
- 大西 守 (公社) 日本精神保健福祉連盟 常務理事
- 小田切 優子 東京医科大学 公衆衛生学分野 講師
- 島津 明人 北里大学 一般教育部人間科学教育センター教授
- 田中 克俊 北里大学大学院教授 (医療系研究科 産業精神保健学)
- 松井 知子 杏林大学 医学部衛生学公衆衛生学教室
- 森崎 美奈子 京都文教大学客員教授 産業メンタルヘルス研究所研究員
- 吉村 靖司 (医社) 弘富会 神田東クリニック  
M P Sセンター 産業精神保健研究所 院長 (診療統括)

※ 本報告書の作成に当たっては、前期(平成28年7月1日～平成30年6月30日)委員の中村純先生((社医)北九州病院北九州古賀病院 院長)及び夏目誠先生(大阪樟蔭女子大学 名誉教授)にご指導いただきました。両委員は、平成30年6月末で退任されました。

## 目 次

【報告の概要】	1
1 受検者の属性	1
2 各尺度におけるストレス評価（素点換算表による5段階評価）の状況	4
3 高ストレス者の割合	7
4 健康リスク	9
【ストレスチェック結果の詳細】	10
1 受検者数の年度別推移	10
2 29年受検者の属性	10
3 質問に対する回答状況	14
4 高ストレス者の選定	22
5 高ストレス者の状況	24
6 評価領域別平均ストレス評価点数（素点換算）	27
7 仕事量、コントロール度、サポートの状況と平均ストレス合計点数	30
8 健康リスク	32
9 医師面接及び相談対応	43
10 職場評価	43

## 【報告の概要】

本報告書は、平成 29 年（1 月～12 月）の全衛連会員機関の提供するストレスチェックを受検した約 298 万人のうち、匿名化した上で集計・分析を行うことに同意を得られた結果データについて会員機関に提供を求め、回答が得られた 81 会員機関、1,623,360 人分のデータを集計・分析したものである。

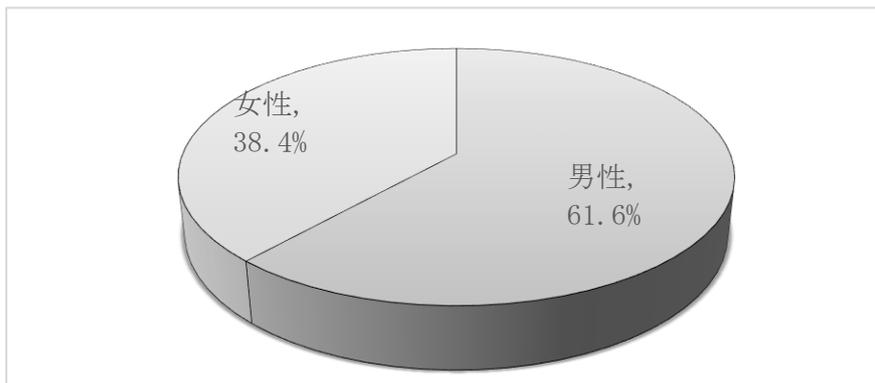
### 1 受検者の属性

受検者の属性（男女別、年代別、業種別、職種別、雇用形態別、職位別）はグラフ 1～6 のとおりであった。

なお、男女別、年代別、業種別の合計人数は 1,623,360 人となるが、職種別、雇用形態別、職位別について回答が得られたのは限られていた。

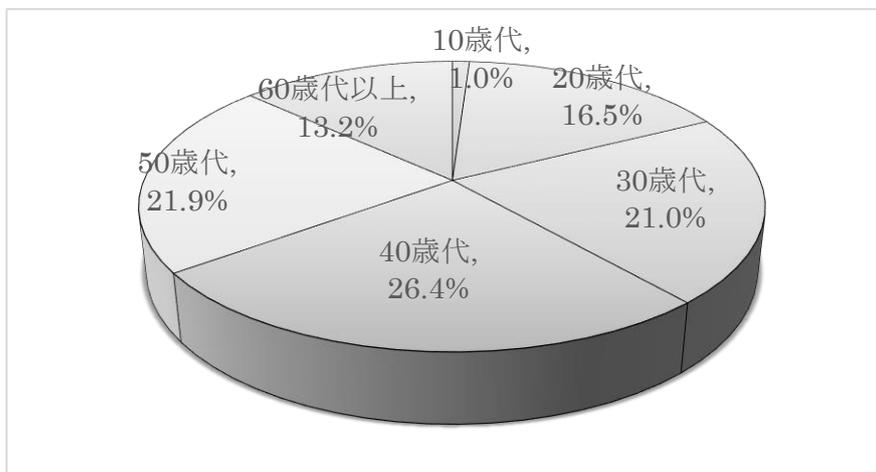
#### (1) 男女別

グラフ 1 受検者の男女別構成（n=1,623,360）



#### (2) 年代別

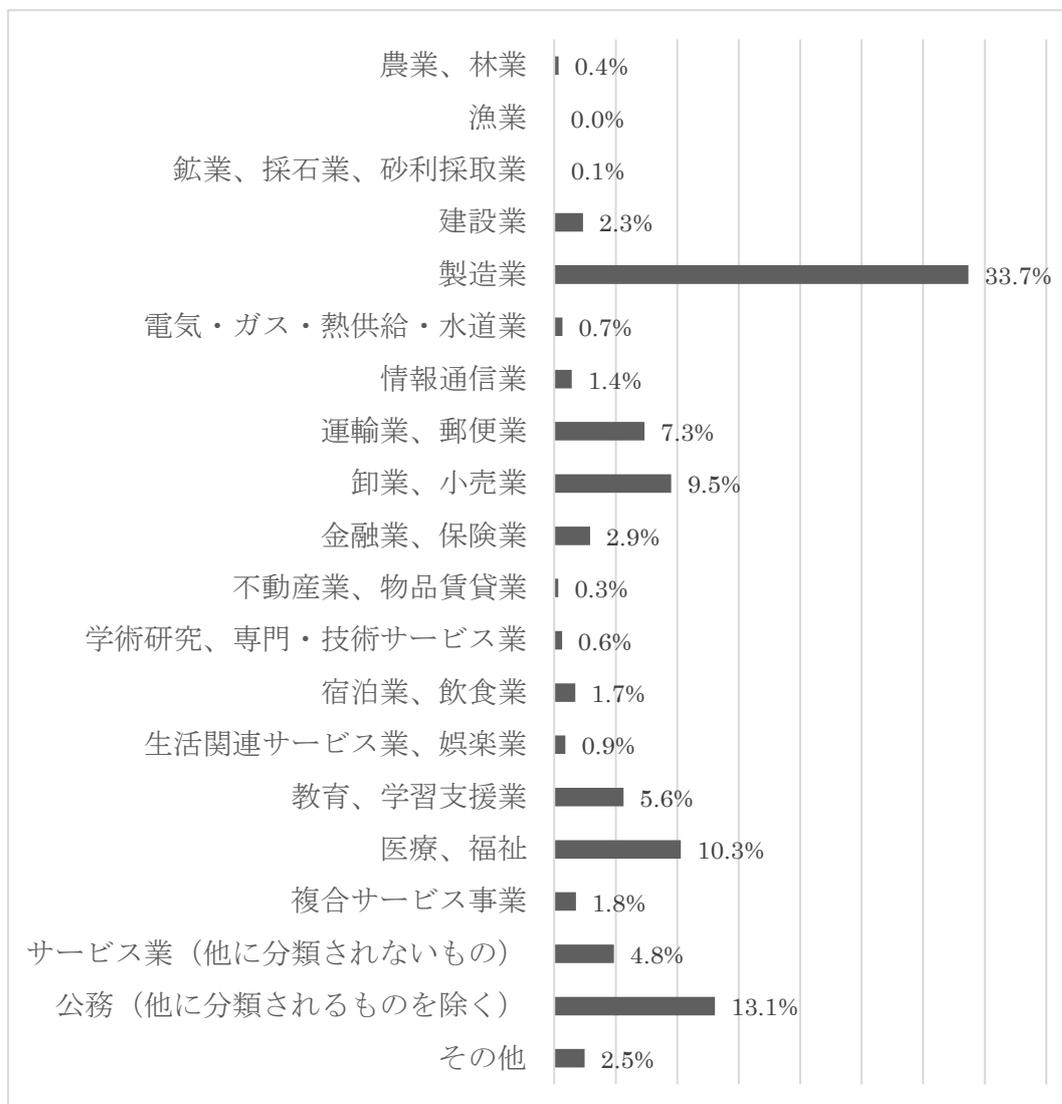
グラフ 2 受検者の年代別構成（n=1,623,360）



### (3) 業種別

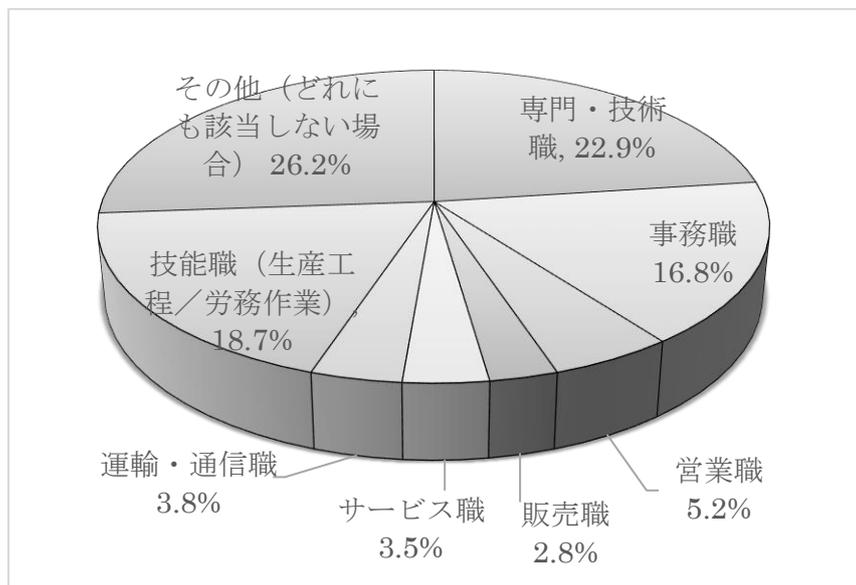
業種別では、製造業が全体の1/3を占め、次いで、公務、医療・福祉などであった。

グラフ3 受検者の業種別構成 (n=1,623,360)



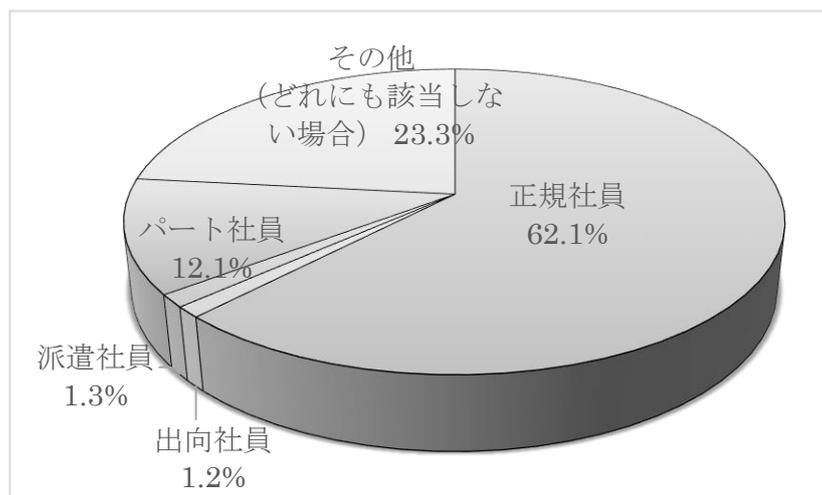
(4) 職種別

グラフ4 受検者の職種別構成 (n=272,759)



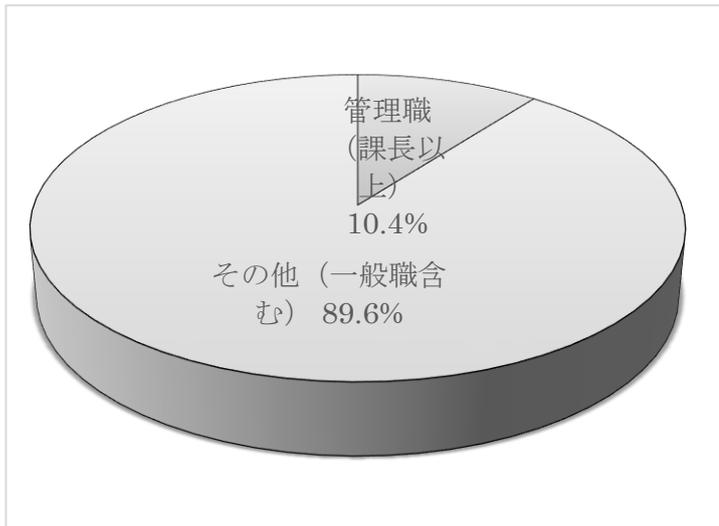
(5) 雇用形態別

グラフ5 受検者の雇用形態別構成 (n=312,819)



## (6) 職位別

グラフ6 受検者の職位別内訳 (n=309,003)



## 2 評価尺度ごとのストレスの状況 (素点換算表による5段階評価)

全衛連ストレスチェックサービスにおいては、基本的には厚生労働省が開発した「職場ストレス簡易調査票」(57項目)を使用して実施している。

調査票の57項目の質問は、評価尺度として大きくストレス要因となる『ストレッサー』、ストレスによって引き起こされる『心身の反応』、そしてストレスに影響する『修飾要因』に分かれる。

『ストレッサー』の評価尺度は、「仕事の負担(量)」、「仕事の負担(質)」、「身体的負担」、「対人関係」、「職場環境」、「コントロール度」、「技能の活用」、「適正度」、「働きがい」の各評価尺度から構成されている。

また、『心身の反応』の評価尺度は、「活気」、「イライラ感」、「疲労感」、「不安感」、「抑うつ感」、「身体愁訴」の各評価尺度から構成されている。

そして、『修飾要因』の評価尺度は、「上司のサポート」、「同僚のサポート」、「家族や友人のサポート」、「仕事や生活の満足度」の各評価尺度から構成されている。

各尺度のストレス評価は、それを構成する質問の回答状況について「素点換算表」(末尾添付)を使って尺度別に評価される(ストレス度が大きい方から小さい方に5段階で評価:評価1~評価5)。

グラフ8、9は、ストレス度が最も大きい評価1とされた人の割合を示した。なお、素点換算表は男女別に作成されているため、グラフは全て男女別となっている。

(1) 各尺度における評価1に該当する受検者の男女別割合

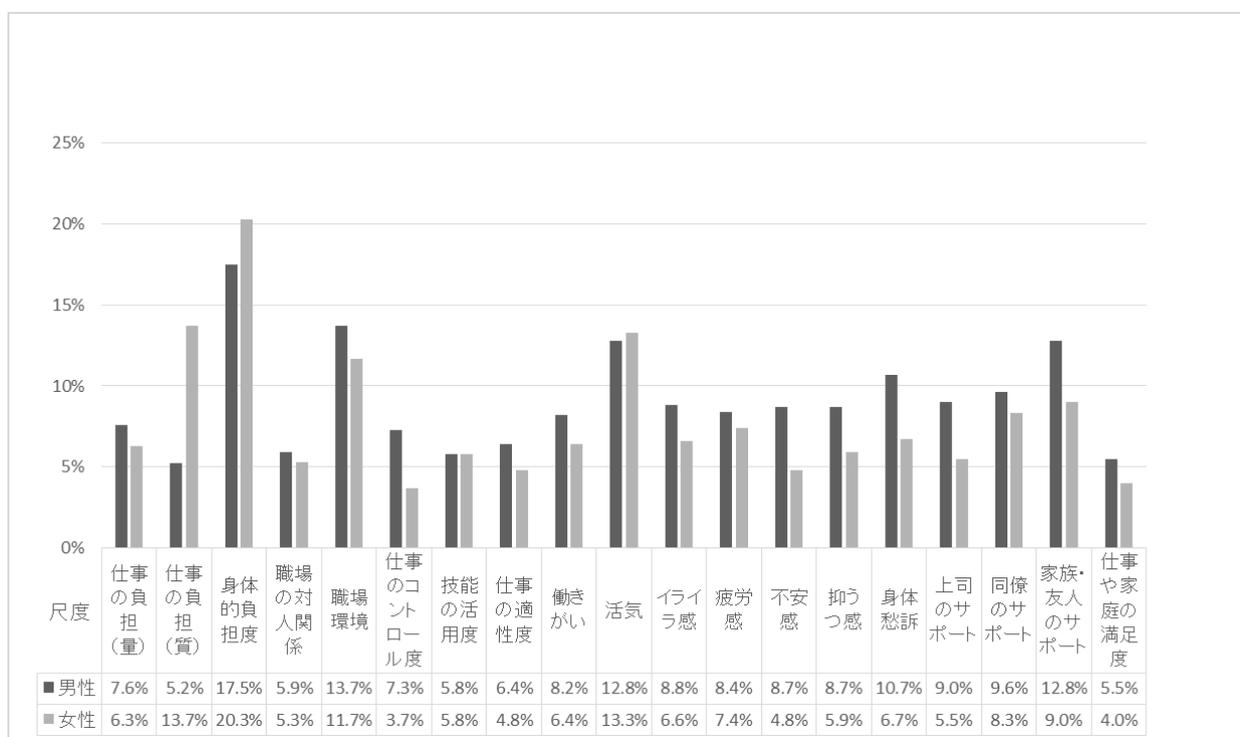
グラフ7は、ストレスの最も大きい評価1に該当する受検者の割合を男女別に示した。

評価1とされたのは、身体的負荷、職場環境、活気の評価尺度で男女とも10%を超えている。

また、女性は身体の負担20.3%（男性17.5%）、仕事の負担（質）13.7%（男性5.2%）と男性と比べて大きく高くなっている。

一方、男性では「家族・友人のサポート」が12.8%（女性9.0%）、同僚のサポート9.6%（女性8.3%）、上司のサポート9.0%（女性5.5%）と女性と比べ高く、また、心身のストレス反応（イライラ感、疲労感、不安感、抑うつ感、身体愁訴）が総じて女性より高い結果となった。

グラフ7 各尺度における評価1に該当する受検者の男女別割合



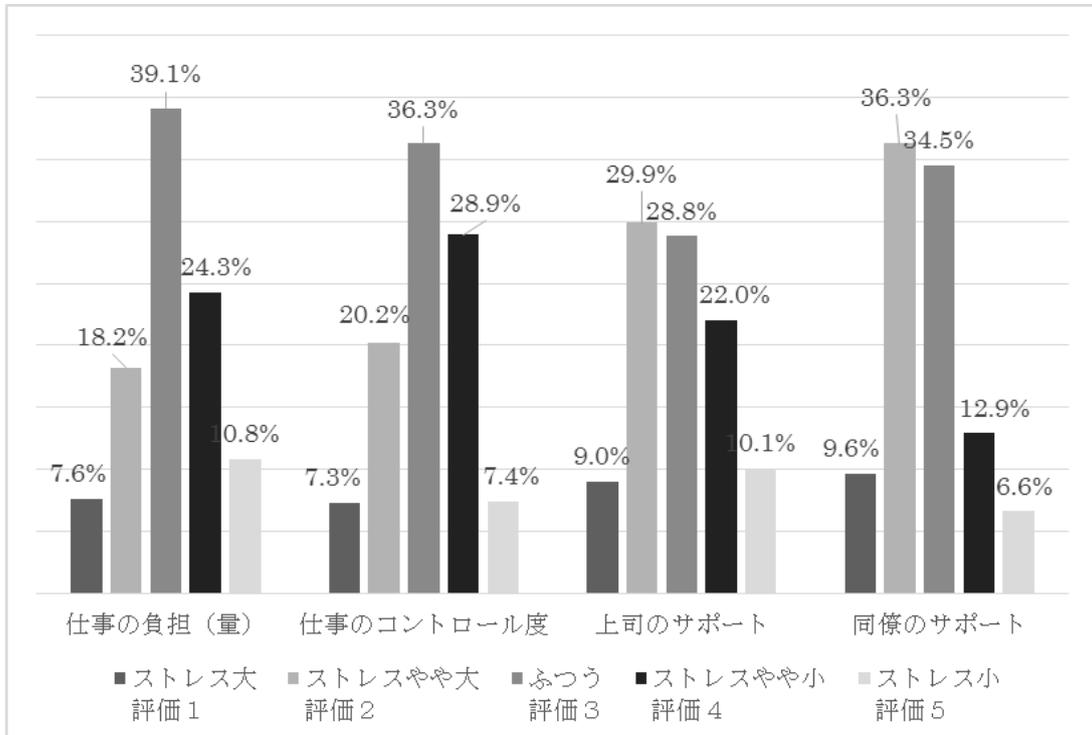
(2) 仕事の負担（量）、仕事のコントロール、上司のサポート及び同僚のサポートの状況

グラフ8及びグラフ9は、仕事の負担（量）、仕事のコントロール、上司のサポート及び同僚のサポートにおけるストレス評価（5段階評価）の分布である。

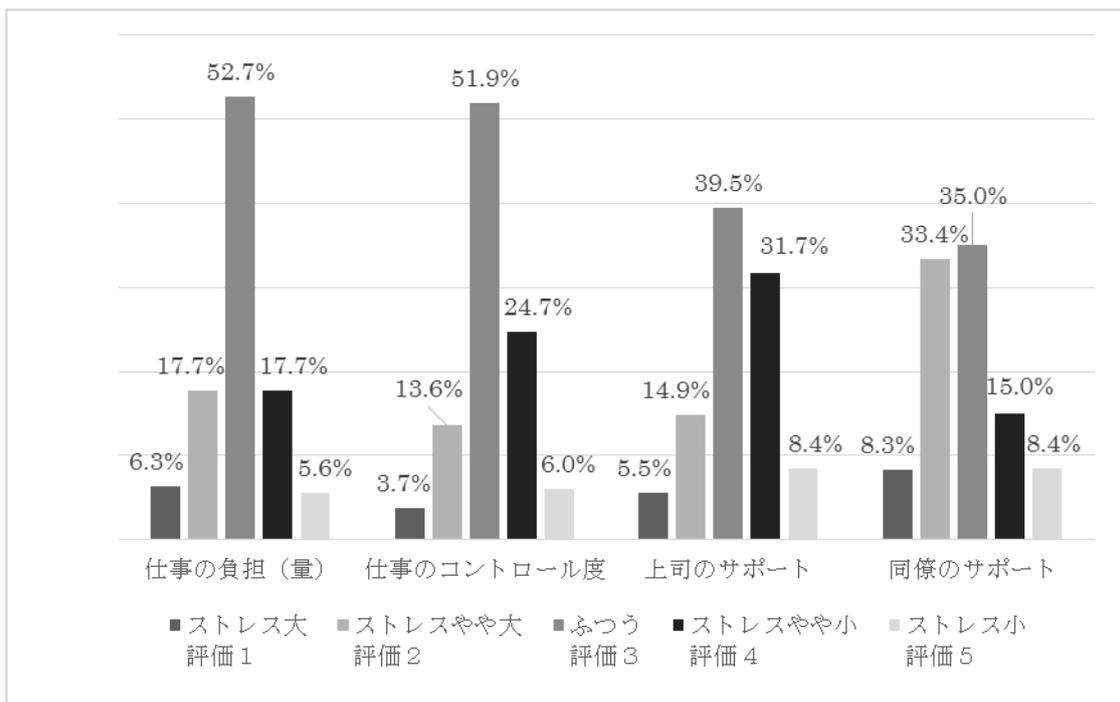
男性では、評価1は、6.6%から9.6%と各尺度で大きな差はないが、評価2では、仕事の負担と仕事のコントロールは20%前後であるのに対し、上司のサポートは30%、同僚のサポートでは36%と周囲のサポートが得られずにストレスが大きい人が多いことが判る。

また、女性では、評価1では、同僚のサポートの割合が他の尺度に比べて大きく、また、評価3で仕事の負担の2尺度割合が5割を超えて、サポートの2尺度との違いが判る。

グラフ8 仕事の負担（量）、仕事のコントロール、上司のサポート及び同僚のサポートにおけるストレス評価（5段階評価）の分布（男性）



グラフ9 仕事の負担（量）、仕事のコントロール、上司のサポート及び同僚のサポートにおけるストレス評価（5段階評価）の分布（女性）



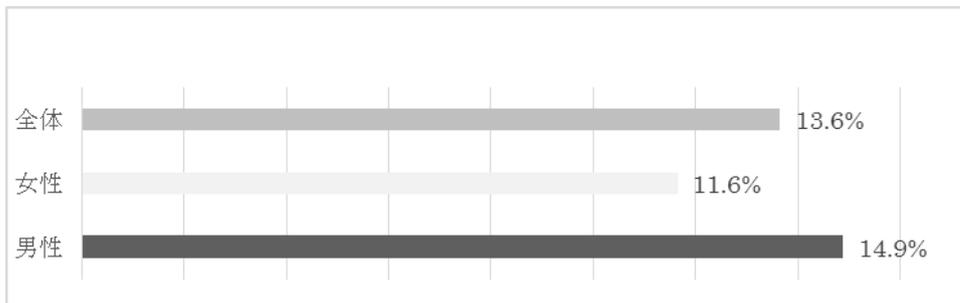
### 3 高ストレス者の割合

全衛連ストレスチェックサービスでは、利用者の希望により、厚生労働省が公表した「労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度実施マニュアル」で示された①（合計点数法）、②（素点換算法）の高ストレス者の選定基準のいずれの方法にも対応しているが、本報告書では、得られたデータを②の方法で解析し、取りまとめた。①（合計点数法）、②（素点換算法）の具体的内容は、本報告書第2部、4「高ストレス者の選定」を参照されたい。

#### (1) 男女別高ストレス者の割合

男女別では、男性の方が3.3%高くなった。

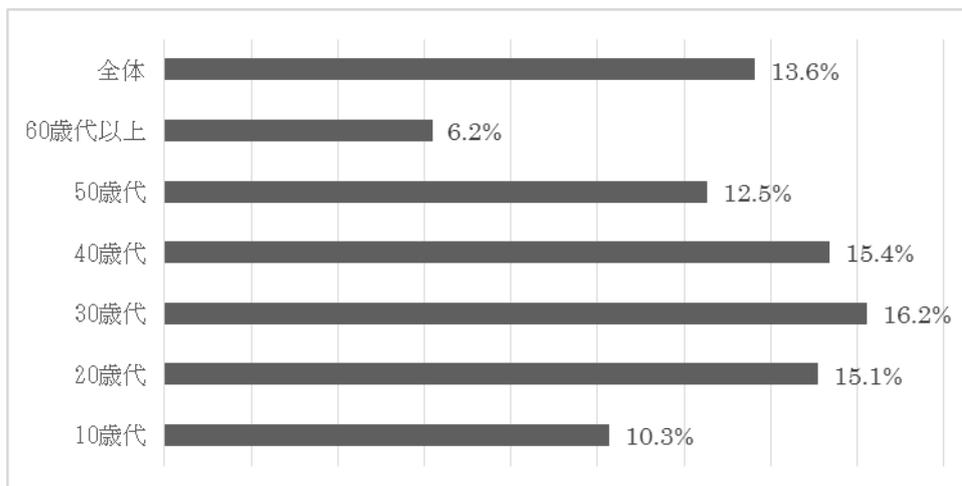
グラフ10 男女別高ストレス者の割合



#### (2) 年代別高ストレス者の割合

年代別では、20歳代、30歳代、40歳代は全体平均より高く、50歳代、60歳代では平均より低くなっている。

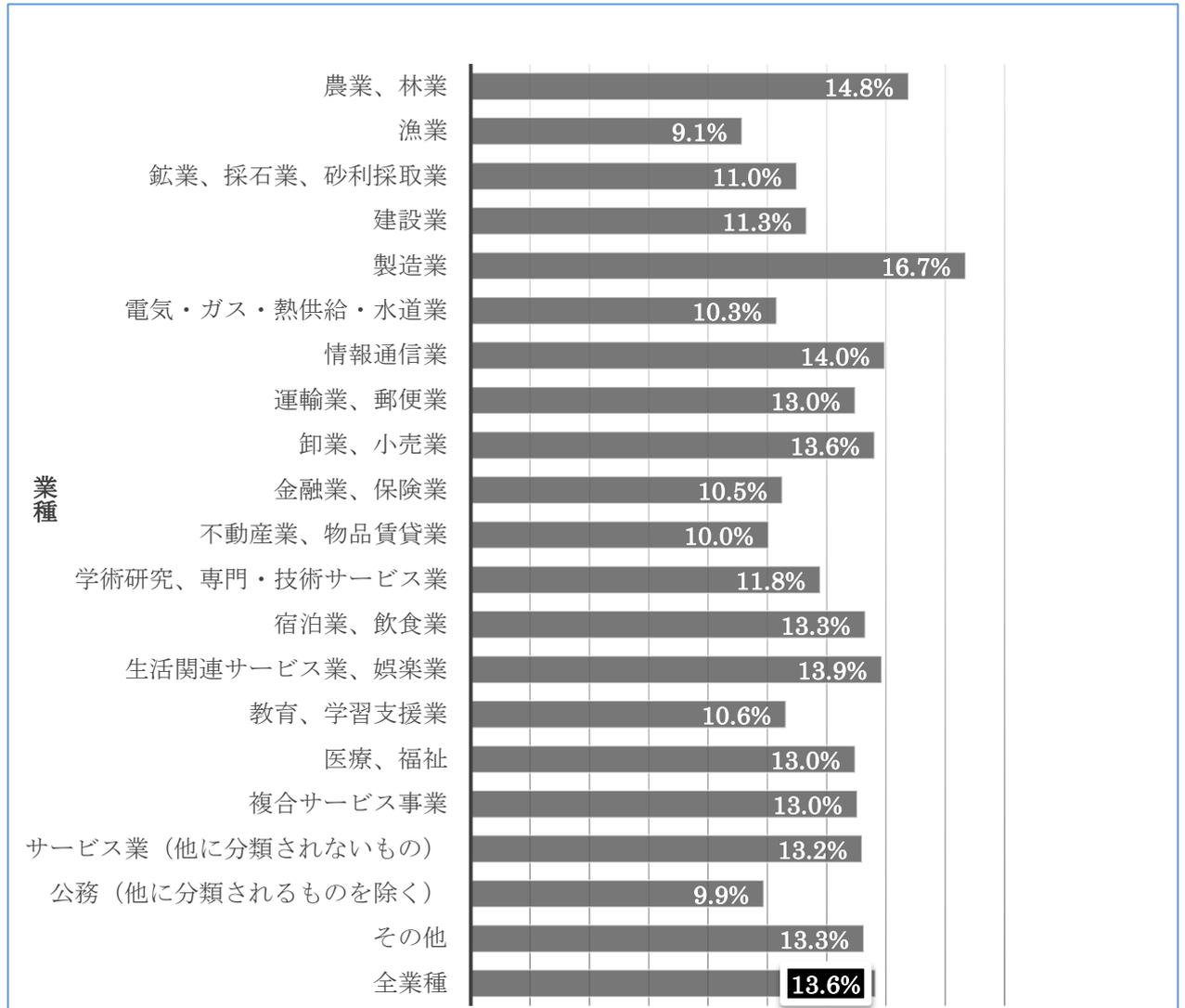
グラフ11 年代別高ストレス者の割合



### (3) 業種別高ストレス者の割合

業種別では、製造業（16.7%）、農業・林業（14.8%）、情報通信業（14.0%）が高い。

グラフ12 業種別高ストレス者の割合



#### 4 健康リスク

全衛連ストレスチェックサービスでは、職場評価結果を「仕事のストレス判定図」として分かりやすく提供している。すなわち、標準集団の平均と比較することで、全衛連ストレスチェックサービスを利用した事業場、部課単位（以下「集団」という）における仕事のストレス要因の特徴を標準集団と比べて知ることができる。仕事のストレス判定図は、仕事のストレス要因から予想されるや疾病休業などの健康問題のリスクを標準集団の平均 100 として表している。例えば、ある集団の位置が健康リスク 120 の線上にある場合には、その集団において健康問題が起きる可能性が標準集団とくらべて 20%増加していると判断できる。これまでの調査事例では、健康リスクが 120 を越えている場合には何らかの、仕事のストレスに関する問題が職場で生じている場合が多いとされている。

##### (1) 平成29年集計による全国平均

平成29年集計から、表1のとおり男性の全業種平均健康リスクは100、女性は95となった。業種別（大分類）健康リスクをみると男女とも120を超えている業種はなかった。

なお、平成30年全衛連ストレスチェックサービスにおいては、職場評価結果報告書を作成・提示する場合、平成29年の健康リスクを基にサービスを提供することとしている。

表1 男女別・業種別健康リスク

業種	男性			女性		
	仕事の負担健康リスク	職場の支援健康リスク	総合健康リスク	仕事の負担健康リスク	職場の支援健康リスク	総合健康リスク
全体	98	103	100	99	96	95
農業、林業	97	103	99	99	101	99
漁業	96	101	96	97	99	96
鉱業、採石業、砂利採取業	93	103	95	92	98	90
建設業	96	101	96	93	98	91
製造業（全体）	100	107	107	98	104	101
電気・ガス・熱供給・水道業	94	97	91	93	98	91
情報通信業	98	103	100	97	98	95
運輸業、郵便業	94	107	100	96	102	97
卸業、小売業	100	101	101	98	97	95
金融業、保険業	101	94	94	99	91	90
不動産業、物品賃貸業	95	98	93	95	96	91
学術研究、専門・技術サービス業	94	102	95	95	97	92
宿泊業、飲食業	94	102	95	98	94	92
生活関連サービス業、娯楽業	96	103	98	99	98	97
教育、学習支援業	99	93	92	101	88	88
医療、福祉	101	100	101	102	93	94
複合サービス事業	96	101	96	98	97	95
サービス業（他に分類されないもの）	96	105	100	97	99	96
公務（他に分類されるものを除く）	95	93	88	99	88	87
その他	97	103	99	98	98	96

## 【ストレスチェック結果の詳細】

平成 29 年 1 月から平成 29 年 12 月までの 1 年間に会員機関が実施したストレスチェックは 2,978,319 件である。

このうち 81 の会員機関から、集計・分析に同意が得られた 1,623,360 人（前年：834,123 人）に係る匿名化データの提供があり、これを集計・分析した。

### 1 受検者数の年度別推移

平成 22 年からの受検者数（分析対象数）の推移は表 1 のとおりである。

平成 27 年 12 月から、事業場規模 50 人以上の事業者にストレスチェックが義務付けられたため、平成 28 年以降受検者数が大幅に増加している。

表 2 男女別受検者数の推移

	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年	29 年
男性	20,377	26,552	44,021	45,125	41,571	53,770	526,464	999,609
女性	5,542	8,529	25,744	19,467	18,574	36,118	307,659	623,751
全体	25,919	3,5051	69,765	79,512	75,311	89,888	834,123	1,623,360

\* 受検者数は、全衛連システム利用者のうち、分析に同意した受検者の数である。ただし 分析に  
適さない不備な回答に係る受検者数は計上していない。

\* 27 年度は、4～11 月に法制化以前のサービスとして実施した件数と、法制化された 12 月以降  
3 月まで実施他件数の合計数である。

\* 28 年からは、集計を年度から年単位に変更し、全衛連が実施した全てのストレスチェックのうち  
分析に同意した受検者の数を計上している。

### 2 29 年受検者の属性等

男女別、年代別、業種別、職種別、職位別、雇用形態別受検者内訳は表 3～8 のとおりである。  
各会員機関、事業場の協力により昨年のほぼ倍のデータの集計となった。

なお、職位別、職種別、雇用形態別の情報については「未入力」がいずれも 80%程度あり、約  
30 万件のデータの集計となった。これら受検者情報の提供については、さらに協力を求めている。  
きたい。

表 3 男女別受検者数

性別	人数	比率
男性	999,609	61.6%
女性	623,751	38.4%
計	1,623,360	100.0%

表4 年代別受検者数

年代	人数	比率
10歳代	16,886	1.0%
20歳代	267,826	16.5%
30歳代	341,263	21.0%
40歳代	428,188	26.4%
50歳代	355,420	21.9%
60歳代以上	213,777	13.2%
計	1,623,360	100.0%

表5 業種別受検者数

業種	人数	比率
<b>大分類</b>		
農業、林業	5,714	0.4%
漁業	553	0.0%
鉱業、採石業、砂利採取業	852	0.1%
建設業	37,848	2.3%
製造業	546,809	33.7%
電気・ガス・熱供給・水道業	10,800	0.7%
情報通信業	23,253	1.4%
運輸業、郵便業	118,975	7.3%
卸業、小売業	154,447	9.5%
金融業、保険業	47,222	2.9%
不動産業、物品賃貸業	5,428	0.3%
学術研究、専門・技術サービス業	10,313	0.6%
宿泊業、飲食業	27,963	1.7%
生活関連サービス業、娯楽業	14,781	0.9%
教育、学習支援業	91,620	5.6%
医療、福祉	167,321	10.3%
複合サービス事業	28,710	1.8%
サービス業（他に分類されないもの）	78,667	4.8%
公務（他に分類されるものを除く）	212,067	13.1%
その他	40,017	2.5%
業種計	1,623,360	100.0%
<b>製造業中分類</b>		
食料品製造業	72,482	13.3%
飲料・たばこ・飼料製造業	2,663	0.5%

繊維工業	18,595	3.4%
木材・木製品製造業（家具を除く）	3,808	0.7%
家具・装備品製造業	6,682	1.2%
パルプ・紙・紙加工品製造業	8,294	1.5%
印刷・同関連業	16,864	3.1%
化学工業	17,455	3.2%
石油製品・石炭製品製造業	841	0.2%
プラスチック製品製造業	20,994	3.8%
ゴム製品製造業	9,985	1.8%
なめし皮・銅製品・毛皮製造業	357	0.1%
窯業・土石製品製造業	8,465	1.5%
鉄鋼業	15,913	2.9%
非鉄金属製造業	12,931	2.4%
金属製品製造業	54,723	10.0%
はん用機械器具製造業	17,201	3.1%
生産用機械器具製造業	14,044	2.6%
業務用機械器具製造業	9,919	1.8%
電子部品・デバイス・電子回路製造業	30,605	5.6%
電気機械器具製造業	53,961	9.9%
情報通信機械器具製造業	2,901	0.5%
輸送用機械器具製造業	87,203	15.9%
その他の製造業	59,923	11.0%
製造業計	546,809	100.0%

表6 職種別受検者数

職種	人数	比率
専門・技術職	62,522	23%
事務職	45,925	17%
営業職	14,051	5%
販売職	7,741	3%
サービス職	9,677	4%
運輸・通信職	10,343	4%
技能職（生産工程／労務作業）	51,102	19%
その他（どれにも該当しない場合）	71,398	26%
入力計	272,759	100%
未入力	1,350,601	—
計	1,623,360	—

表7 雇用形態別受検者数

雇用形態	人数	比率
正規社員	194,377	62%
出向社員	3,599	1%
派遣社員	4,176	1%
パート社員	37,727	12%
その他（どれにも該当しない場合）	72,940	23%
入力計	312,819	100%
未入力	1,310,541	—
合計	1,623,360	—

表8 職位別受検者数

職位	人数	比率
管理職（課長以上）	32,192	10%
その他（一般職含む）	276,811	90%
入力計	309,003	100%
未入力	1,314,357	—
合計	1,623,360	—

### 3 質問に対する回答状況

#### (1) 57項目の質問に対する回答状況

全衛連ストレスチェックサービスで使用する質問票は、厚生労働省が作成した「職業性ストレス簡易調査票」(57項目)を使用している(末尾【参考1】「全衛連ストレスチェック調査票」参照)。

調査票では、57項目の各質問に対し、項目により、「そうだ」、「まあそうだ」、「ややちがう」、「ちがう」の4選択肢、「ほとんどなかった」、「時々あった」、「しばしばあった」、「ほとんどいつもあった」の4選択肢、「非常に」、「かなり」、「多少」、「全くない」の4選択肢、「満足」、「まあ満足」、「やや満足」、「不満足」の4選択肢から回答を求めている。

解析対象となった1,623,360人の各質問に対する回答状況を昨年の結果と対比して表9に示した。

各質問の内容により、同じ「そうだ」の回答でもストレスが高い場合と低い場合があるため、ストレス度の高い回答に網掛けをした。

表9 平成28年、29年比較57項目の質問に対する回答状況

	仕事の内容・状態に関する質問	そうだ		まあそうだ		ややちがう		ちがう		未記入	
		29年	28年	29年	28年	29年	28年	29年	28年	29年	28年
1	非常にたくさんの仕事をしなければならない	15.7%	14.2%	46.8%	42.7%	25.7%	25.4%	11.4%	11.1%	0.4%	6.7%
2	時間内に仕事が処理できない	14.1%	14.4%	30.7%	29.7%	32.9%	30.7%	21.9%	20.1%	0.4%	5.1%
3	一生懸命働かなければならない	33.2%	30.5%	48.5%	43.9%	12.7%	13.9%	5.2%	6.6%	0.3%	5.2%
4	かなり注意を集中する必要がある	27.9%	26.0%	49.7%	45.0%	17.6%	18.4%	4.4%	5.5%	0.4%	5.1%
5	高度の知識や技術が必要な難しい仕事だ	12.4%	12.6%	39.4%	37.7%	35.1%	32.6%	12.7%	11.9%	0.4%	5.2%
6	勤務時間中はいつも仕事のことを考えていなければならない	18.8%	17.4%	45.5%	42.2%	28.3%	27.8%	7.1%	7.4%	0.4%	5.1%
7	からだを大変よく使う仕事だ	18.6%	17.7%	28.4%	26.3%	30.8%	29.0%	22.0%	21.9%	0.3%	5.1%
8	自分のペースで仕事ができる	10.1%	9.5%	39.3%	36.7%	35.1%	33.6%	15.2%	15.1%	0.3%	5.1%
9	自分で仕事の順番・やり方を決めることができる	14.6%	14.0%	46.9%	43.9%	27.1%	25.9%	11.1%	11.2%	0.3%	5.1%
10	職場の仕事の方針に自分の意見を反映できる	6.6%	6.2%	44.8%	42.1%	35.0%	33.4%	13.2%	13.1%	0.4%	5.2%
11	自分の技能や知識を仕事で使うことが少ない	5.8%	6.3%	23.8%	23.4%	51.5%	46.5%	18.4%	18.6%	0.4%	5.2%
12	私の部署内で意見のくい違いがある	8.1%	8.0%	28.4%	27.4%	44.7%	41.6%	18.3%	17.8%	0.4%	5.2%
13	私の部署と他の部署とはうまく合わない	5.4%	6.5%	16.9%	17.6%	46.5%	41.8%	30.7%	28.8%	0.5%	5.3%
14	私の職場の雰囲気は友好的である	21.6%	20.6%	54.0%	50.0%	17.9%	17.7%	6.1%	6.4%	0.4%	5.2%
15	私の職場の作業環境は良くない(騒音、照明、温度、換気など)	12.9%	13.5%	23.3%	23.2%	38.4%	34.5%	24.9%	23.6%	0.4%	5.2%
16	仕事の内容は自分にあっている	16.1%	15.4%	56.0%	52.3%	21.6%	21.2%	5.7%	5.9%	0.6%	5.2%
17	働きがいのある仕事だ	19.0%	18.4%	50.3%	47.7%	22.5%	21.4%	7.5%	7.1%	0.9%	5.4%

	心のストレス反応に関する質問	ほとんどなかった		時々あった		しばしばあった		ほとんどいつもあった		未記入	
		29年	28年	29年	28年	29年	28年	29年	28年	29年	28年
18	活気がわいてくる	20.9%	18.9%	45.1%	42.5%	26.3%	26.1%	7.2%	7.3%	0.5%	5.2%
19	元気いっぱいだ	18.8%	17.2%	43.3%	40.7%	28.1%	27.8%	9.4%	9.1%	0.4%	5.2%
20	生き生きする	22.6%	20.3%	43.2%	40.8%	26.1%	25.8%	7.6%	7.8%	0.5%	5.3%
21	怒りを感じる	24.0%	22.7%	42.7%	40.9%	26.4%	25.2%	6.5%	6.0%	0.4%	5.2%
22	内心腹立たしい	27.1%	25.4%	41.3%	39.7%	23.7%	22.7%	7.4%	7.0%	0.4%	5.2%
23	イライラしている	25.0%	23.3%	43.8%	42.1%	23.2%	22.3%	7.5%	7.2%	0.4%	5.2%
24	ひどく疲れた	14.1%	13.7%	41.2%	39.6%	30.7%	29.1%	13.7%	12.5%	0.4%	5.1%
25	へとへとだ	31.8%	30.8%	36.5%	34.7%	21.7%	20.3%	9.6%	9.1%	0.4%	5.2%
26	だるい	23.9%	22.7%	41.7%	39.8%	23.4%	22.2%	10.8%	10.2%	0.2%	5.2%
27	気がはりつめている	22.4%	21.5%	41.0%	38.7%	25.6%	24.4%	10.6%	10.2%	0.4%	5.2%
28	不安だ	32.8%	30.5%	37.3%	35.7%	19.7%	19.0%	9.8%	9.6%	0.4%	5.2%
29	落ち着かない	47.5%	45.4%	34.0%	32.2%	13.5%	12.5%	4.6%	4.6%	0.4%	5.2%
30	ゆううつだ	40.4%	38.6%	35.1%	33.6%	16.4%	15.3%	7.7%	7.3%	0.4%	5.2%
31	何をするのも面倒だ	41.8%	40.2%	38.7%	36.8%	13.8%	12.7%	5.3%	5.0%	0.4%	5.2%
32	物事に集中できない	45.5%	43.7%	40.9%	38.8%	10.5%	9.7%	2.6%	2.6%	0.5%	5.2%
33	気分が晴れない	33.7%	31.8%	42.9%	41.4%	16.0%	15.2%	6.9%	6.4%	0.4%	5.2%
34	仕事が手につかない	65.9%	63.5%	26.2%	24.1%	5.7%	5.1%	1.7%	2.0%	0.5%	5.2%
35	悲しいと感じる	63.1%	60.6%	24.5%	22.9%	8.5%	7.7%	3.5%	3.5%	0.5%	5.3%

	からだのストレス反応 (身体愁訴)に関する 質問	ほとんどなかった		時々あった		しばしばあった		ほとんどいつも あった		未記入	
		29年	28年	29年	28年	29年	28年	29年	28年	29年	28年
36	めまいがする	72.6%	69.3%	20.3%	18.5%	5.4%	5.0%	1.2%	1.9%	0.4%	5.2%
37	体のふしぶしが痛む	58.3%	57.5%	27.7%	24.7%	9.4%	8.2%	4.2%	4.3%	0.5%	5.3%
38	頭が重かったり頭痛が する	47.8%	46.4%	34.1%	31.8%	14.0%	12.9%	3.6%	3.7%	0.5%	5.3%
39	首筋や肩がこる	24.4%	24.2%	32.4%	30.6%	23.4%	21.8%	19.4%	18.2%	0.4%	5.2%
40	腰が痛い	32.9%	32.3%	33.9%	31.9%	20.2%	18.7%	12.6%	11.9%	0.4%	5.2%
41	目が疲れる	19.6%	18.8%	35.4%	33.7%	28.0%	26.5%	16.6%	15.8%	0.5%	5.2%
42	動悸や息切れがする	73.4%	69.6%	19.2%	17.5%	5.4%	5.3%	1.5%	2.4%	0.5%	5.2%
43	胃腸の具合が悪い	56.4%	53.9%	29.4%	27.3%	10.0%	9.4%	3.8%	4.1%	0.4%	5.2%
44	食欲がない	72.7%	68.9%	21.2%	19.6%	4.3%	4.1%	1.4%	2.1%	0.4%	5.2%
45	便秘や下痢をする	50.5%	48.0%	30.6%	28.8%	12.5%	11.8%	6.0%	6.2%	0.5%	5.2%
46	よく眠れない	49.8%	48.1%	32.0%	29.8%	12.5%	11.5%	5.3%	5.3%	0.4%	5.2%

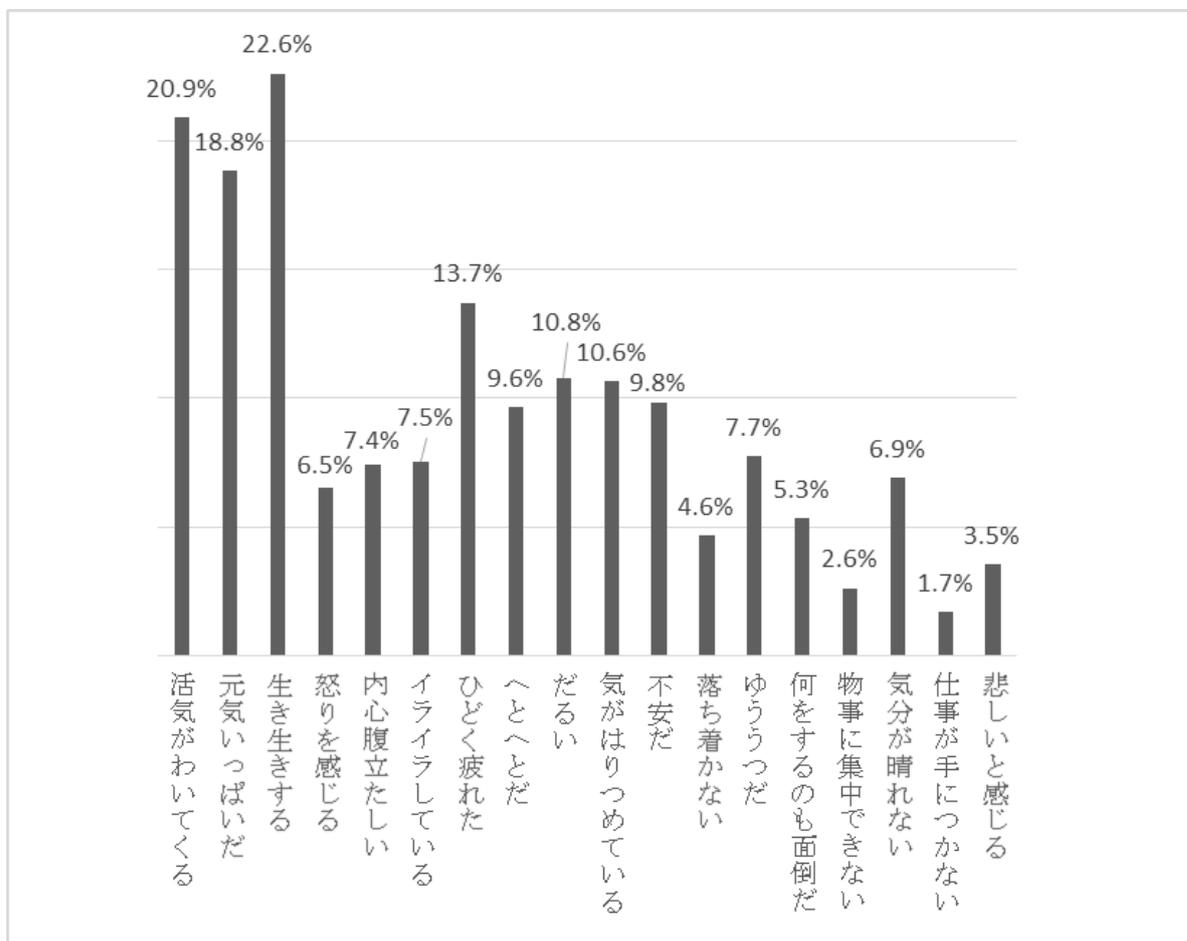
	周囲の支援の状況に関する質問	非常に		かなり		多少		全くない		未記入	
		29年	28年	29年	28年	29年	28年	29年	28年	29年	28年
47	気軽に上司と話ができますか	11.8%	11.4%	30.2%	29.1%	48.3%	45.6%	9.3%	8.6%	0.5%	5.2%
48	気軽に同僚と話ができますか	22.0%	21.0%	43.6%	41.9%	31.2%	29.2%	2.8%	2.7%	0.5%	5.2%
49	気軽に家族・友人と話ができますか	47.5%	46.4%	35.4%	33.2%	14.5%	12.9%	2.0%	2.2%	0.6%	5.3%
50	上司はどれくらい頼りになりますか	15.1%	15.2%	31.8%	31.3%	40.9%	37.9%	11.6%	10.3%	0.6%	5.3%
51	同僚はどれくらい頼りになりますか	14.7%	14.0%	37.5%	36.4%	40.3%	38.0%	6.9%	6.3%	0.5%	5.3%
52	家族・友人はどれくらい頼りになりますか	38.4%	36.8%	37.2%	35.5%	20.6%	19.3%	3.1%	3.2%	0.6%	5.3%
53	上司は個人的な相談に乗ってくれますか	11.1%	10.7%	28.2%	27.4%	44.5%	42.2%	15.5%	14.2%	0.7%	5.5%
54	同僚は個人的な相談に乗ってくれますか	12.2%	11.3%	33.4%	32.0%	44.1%	42.3%	9.6%	9.0%	0.6%	5.4%
55	家族・友人は個人的な相談に乗ってくれますか	42.9%	41.2%	36.9%	34.9%	16.9%	15.8%	2.7%	2.9%	0.5%	5.3%
	満足度に関する質問	満足		まあ満足		やや不満足		不満足		未記入	
		29年	28年	29年	28年	29年	28年	29年	28年	29年	28年
56	仕事に満足だ	12.6%	11.9%	50.2%	47.8%	26.6%	25.8%	10.2%	9.2%	0.4%	5.2%
57	家庭生活に満足だ	30.4%	28.3%	50.9%	48.3%	14.3%	14.1%	4.0%	4.1%	0.5%	5.2%

ア. 心身のストレス反応の状況

表9の各項目に対する回答のうち、心身のストレス反応に関する回答で、最もストレスが大きい「ほとんどいつもあった」（活気関係の3質問（質問票18～20）については「ほとんどなかった」と回答した人の割合をグラフ13に示した。

活気関係の3質問（「活気がわいてくる」「元気いっぱい」「生き生きする」）に「ほとんどなかった」と回答したのは、それぞれ20.9%、18.8%、22.6%と高かった。次いで疲労感に関する3質問（「ひどく疲れた」「へとへとだ」「だるい」）に「ほとんどいつもあった」と回答したのは、それぞれ13.7%、9.6%、10.8%であった。

グラフ13 心理的な負担の各質問に「ほとんどいつもあった」と回答した人の割合  
 （活気に関する質問の場合は「ほとんどなかった」と回答した人の割合）

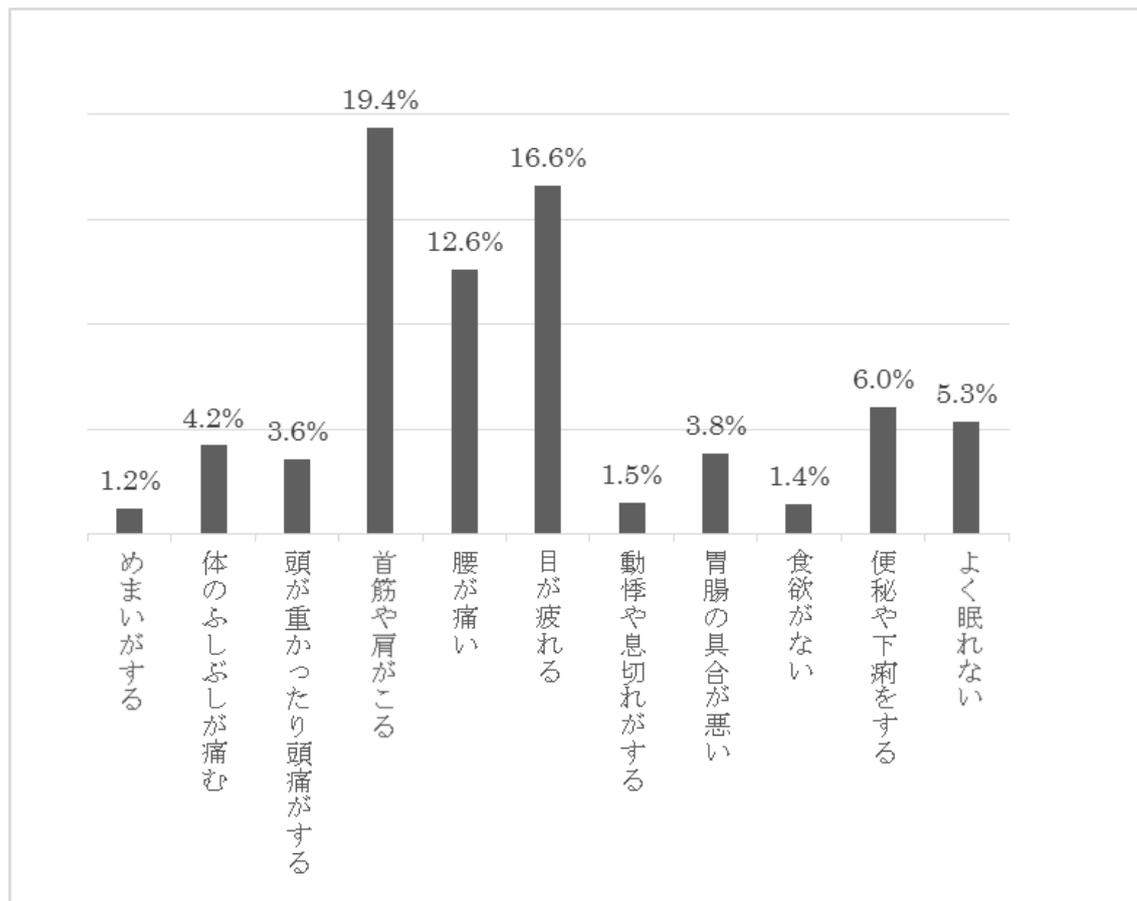


## イ. 身体愁訴

心身のストレス反応のうち、身体愁訴に関する質問に対する回答についてグラフ14に示した。

身体愁訴の領域の項目では、「首や肩がこる」、「目が疲れる」、「腰が痛い」の順で割合が大きく、「食欲がない」(1.4%)、「良く眠れない」(5.3%)の抑うつ症状につながる項目に「ほとんどいつもあった」と回答した人の割合は小さかった。

グラフ14 身体愁訴の各質問に「ほとんどいつも」と回答した人の割合



## (2) 回答の尺度別分析結果

57項目の質問は、仕事の負担(量)、仕事の負担(質)、仕事のコントロール度、上司のサポート、同僚のサポートといった評価尺度ごとにいくつかの質問から構成されている。

それらの回答状況について「素点換算表」(末尾添付)を使って尺度別に評価した結果(ストレス度が大きい方から小さい方に5段階評価:評価1~評価5)を昨年と比較して表10、表1

1に示した。

ストレスが大きいと評価された尺度は、男性では「身体の負担度」が17.5%、「職場環境」が13.7%、「家族・友人のサポート」が12.8%、女性では「身体の負担度」20.3%、仕事の負担（質）が13.7%、であった。これらを含めて、昨年の評価の分布と大きな変化は認められない。

表10 尺度別ストレス状況（男性）

ストレス度 尺度	ストレス大 評価1		ストレスやや大 評価2		ふつう 評価3		ストレスやや小 評価4		ストレス小 評価5	
	29年	28年	29年	28年	29年	28年	29年	28年	29年	28年
心理的な仕事の負担（量）	7.6%	7.0%	18.2%	17.8%	39.1%	37.8%	24.3%	25.1%	10.8%	12.3%
心理的な仕事の負担（質）	5.2%	4.9%	21.5%	21.3%	42.0%	40.6%	24.1%	24.9%	7.2%	8.4%
身体的負担度	17.5%	17.2%	28.5%	28.0%	32.9%	32.6%	21.2%	22.1%	0.0%	0.0%
職場の対人関係	5.9%	6.1%	20.0%	21.9%	44.9%	43.4%	22.6%	22.3%	6.6%	6.3%
職場環境	13.7%	15.0%	23.2%	24.4%	38.4%	35.9%	24.7%	24.7%	0.0%	0.0%
仕事のコントロール度	7.3%	7.5%	20.2%	20.5%	36.3%	36.9%	28.9%	28.2%	7.4%	7.0%
技能の活用度	5.8%	6.7%	23.5%	24.7%	51.7%	48.7%	18.9%	19.9%	0.0%	0.0%
仕事の適性度	6.4%	6.8%	22.8%	23.4%	55.6%	54.4%	0.0%	0.0%	15.3%	15.4%
働きがい	8.2%	8.1%	23.8%	23.7%	50.2%	50.0%	0.0%	0.0%	17.7%	18.1%
活気	12.8%	11.6%	13.7%	13.8%	39.2%	38.7%	24.7%	25.5%	9.6%	10.5%
イライラ感	8.8%	8.8%	21.5%	21.6%	35.5%	35.5%	18.8%	19.5%	15.4%	14.5%
疲労感	8.4%	8.1%	24.6%	24.4%	45.4%	45.6%	10.8%	11.3%	10.8%	10.6%
不安感	8.7%	8.8%	17.1%	17.1%	46.4%	46.7%	14.4%	14.5%	13.3%	12.9%
抑うつ感	8.7%	8.5%	16.5%	16.0%	35.6%	36.1%	19.3%	20.3%	19.8%	19.2%
身体愁訴	10.7%	10.7%	18.1%	17.3%	38.6%	38.8%	26.6%	27.6%	6.0%	5.6%
上司のサポート	9.0%	8.3%	29.9%	28.9%	28.8%	30.0%	22.0%	22.5%	10.1%	10.2%
同僚のサポート	9.6%	9.3%	36.3%	35.8%	34.5%	35.2%	12.9%	13.5%	6.6%	6.2%
家族・友人のサポート	12.8%	12.0%	16.5%	16.8%	22.1%	21.3%	21.9%	23.4%	26.8%	26.5%
仕事や家庭の満足度	5.5%	5.4%	12.8%	12.7%	56.6%	56.8%	15.8%	16.2%	9.4%	8.9%

表11 尺度別ストレス状況（女性）

ストレス度 尺度	ストレス大 評価1		ストレスやや大		ふつう 評価3		ストレスやや小		ストレス小 評価5	
	29年	28年	29年	28年	29年	28年	29年	28年	29年	28年
心理的な仕事の負担（量）	6.3%	6.3%	17.7%	17.7%	52.7%	52.3%	17.7%	18.0%	5.6%	5.9%
心理的な仕事の負担（質）	13.7%	13.7%	32.3%	31.6%	34.9%	34.6%	14.7%	15.4%	4.3%	4.7%
身体的負担度	20.3%	20.8%	28.3%	27.1%	27.8%	27.2%	23.6%	24.9%	0.0%	0.0%
職場の対人関係	5.3%	5.8%	17.8%	19.2%	41.3%	39.9%	26.8%	26.6%	8.9%	8.6%
職場環境	11.7%	12.9%	23.8%	24.7%	39.1%	37.2%	0.0%	0.0%	25.4%	25.2%
仕事のコントロール度	3.7%	3.8%	13.6%	14.4%	51.9%	52.1%	24.7%	24.0%	6.0%	5.6%
技能の活用度	5.8%	6.6%	24.5%	24.7%	51.8%	49.7%	17.8%	19.1%	0.0%	0.0%
仕事の適性度	4.8%	5.2%	20.1%	20.6%	57.7%	56.7%	0.0%	0.0%	17.4%	17.4%
働きがい	6.4%	6.6%	20.9%	20.8%	51.6%	51.1%	0.0%	0.0%	21.1%	21.5%
活気	13.3%	12.4%	15.5%	15.4%	36.7%	36.5%	23.7%	24.4%	10.9%	11.2%
イライラ感	6.6%	6.3%	16.1%	16.1%	43.3%	43.7%	20.0%	20.8%	14.0%	13.1%
疲労感	7.4%	6.9%	21.4%	21.3%	40.9%	40.9%	22.2%	23.2%	8.1%	7.7%
不安感	4.8%	4.9%	18.9%	18.9%	43.8%	43.9%	16.0%	16.1%	16.5%	16.2%
抑うつ感	5.9%	6.1%	18.0%	17.4%	35.5%	36.2%	21.1%	21.8%	19.5%	18.4%
身体愁訴	6.7%	7.2%	18.9%	18.1%	36.9%	37.0%	26.3%	26.9%	11.1%	10.8%
上司のサポート	5.5%	5.1%	14.9%	15.0%	39.5%	38.8%	31.7%	32.6%	8.4%	8.5%
同僚のサポート	8.3%	8.3%	33.4%	33.2%	35.0%	35.4%	15.0%	15.3%	8.4%	7.8%
家族・友人のサポート	9.0%	8.9%	13.0%	12.9%	19.8%	18.8%	22.8%	24.1%	35.5%	35.4%
仕事や家庭の満足度	4.0%	4.2%	10.9%	10.9%	58.7%	59.0%	17.3%	17.4%	9.2%	8.5%

#### 4 高ストレス者の選定

全衛連の高ストレス者判定基準は、厚生労働省「ストレスチェック制度実施マニュアル」で高ストレス者を選定するための方法として示している合計点方式（平成 22 年度から実施）と素点換算表方式（平成 29 年から実施）の二つの方法を採用している。

両方式は、基本的となるストレス点数の意味合いが異なるため、判定に伴う集計・分析は別個に行う必要がある。それぞれの方式に係る判定基準と分析は以下のとおりであった。

##### 【その1 合計点方式】

合計点方式の判定基準では、表 9 の各質問について、ストレスが高い方を 4 点、低い方を 1 点として合計点を算出し、次の①及び②に該当する者を高ストレス者として選定している。

- ① 「心身のストレス反応」(B 領域) に関する 29 項目の合計が 77 点以上の者
- ② 「心身のストレス反応」(B 領域) に関する項目の合計が 63 点以上であり、かつ「仕事のストレス要因」(A 領域) 及び「周囲のサポート」(C 領域) に関する項目の評価点の合計が 76 点以上の者

上記判定基準該当者（高ストレス者）の A、B、C 各領域の平均合計点数を示した（表 1 2）。

高ストレス者の平均合計点数は、全受検者平均と比べ、B 領域で 25.7 点、A+C 領域では 12.1 点高くなっている。

これを整理すると次表のとおりである。

	受検者数	受検者の割合	B領域				A領域	C領域	A領域+C領域	A+B+C+満足度 57項目
			心とからだに現れた反応 29項目	うち心理的 反応18 項目	うち抑うつ 6項目	うち身体 愁訴11 項目	仕事の ストレス要 因 17項目	サポート 9項目	仕事の ストレス要 因 17項目 +サポー ト9項目	
最大点数			116	72	24	44	68	36	104	228
判定基準			① 77点以上							
			② 63点以上				かつ		76点以上	
			平均ストレス点数							
全体 (I)	1,590,524	100%	57.2	37.9	10.3	19.4	41.4	20.1	61.5	123.1
高ストレス者 (II)	213,597	13.4%	82.9	55.4	16.5	27.6	49.4	24.2	73.6	162.1

【その2 素点換算表方式】

素点換算表方式の判定基準では、調査票の各質問について、素点換算表により評価尺度ごとの5段階評価（ストレスが高い方を1点、低い方を5点）に換算してその評価点の合計点を算出し、次の①及び②に該当する者を高ストレス者として選定している。

- ① 「心身のストレス反応」(B領域)に関する29項目6尺度(活気、イライラ感、不安感、抑うつ感、疲労感、身体愁訴)の評価合計点が12点以下の者
- ② ①の「心身のストレス反応」(B領域)に関する項目・尺度の評価合計点が17点以下であり、かつ「仕事のストレス要因」(A領域)17項目9尺度(仕事の量、仕事の質、身体の負担度、職場の人間関係、職場環境、仕事のコントロール度、技能の活用度、仕事の適性度、働きがい)及び「周囲のサポート」(C領域)9項目3尺度(上司のサポート、同僚のサポート、家族のサポート)の評価点の合計点が12点以下の者

上記判定基準該当者(高ストレス者)のA、B、C各領域の平均評価合計点数を示した(表13)。高ストレス者の平均評価合計点数は、全受検者平均と比べ、B領域で7.8点、A+C領域では7.7点低い。

これを整理すると次表のとおりとなっている。

	受検者数	受検者の割合	B領域				A領域	C領域	A領域+C領域	A+B+C+満足度 18尺度
			心とからだに現れた反応 6尺度	うち心理的 反応5 尺度	うち抑うつ 1尺度	うち身体 愁訴1尺 度	仕事の ストレス要 因 9尺度	サポート 3尺度	仕事の ストレス要 因 9尺度 +サポー ト3尺度	
最小点数			6	5	1	1	9	3	12	18
判定基準	①		12点以下							
	②		17点以下			かつ		26点以下		
平均評価点合計点数										
全体(I)	1,590,524	100%	18.6	15.5	3.3	3.1	26.4	9.2	35.7	57.4
高ストレス者 (II)	217,004	13.6%	10.8	9.0	1.7	1.8	20.9	7.2	28.0	41.2

## 5 高ストレス者の状況

### (1) 高ストレス者の推移

高ストレス者あるいは面接指導対象者の選定については、全衛連旧システムから労働安全衛生法の改正による新制度の創設に伴い全衛連における高ストレス者の選定基準も変更した。また、全衛連においては、各方面からの要請に対応して、平成29年から素点換算表方式の選定基準も導入している（基準の詳細は、上記4参照）

表12のとおり、全受検者に対する高ストレス者の比率は平成22年を除くと11%から13%台で推移して、それぞれの基準による高ストレス者の比率には、大きな差異がみられないことが分かる。

表12 男女別、年代別高ストレス者の割合の推移

年・年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	27年度	28年	29年	
	(旧サービス)						(新サービス)			
性別・年代	合計点数法									素点換算表法
男性	7.9%	11.3%	11.3%	11.1%	11.9%	10.5%	11.2%	11.9%	13.1%	14.9%
女性	7.7%	13.3%	10.7%	12.1%	12.4%	12.2%	11.9%	13.0%	13.9%	11.6%
全体	7.9%	11.8%	11.1%	11.4%	12.0%	11.1%	11.5%	12.3%	13.4%	13.6%
10歳代	8.8%	14.3%	9.8%	10.9%	11.1%	9.6%	10.1%	12.1%	11.4%	10.3%
20歳代	10.0%	13.9%	11.9%	12.7%	13.1%	11.3%	13.7%	13.7%	15.1%	15.1%
30歳代	8.3%	12.9%	12.7%	12.2%	12.9%	11.7%	12.6%	13.9%	15.6%	16.2%
40歳代	7.6%	12.3%	12.5%	9.8%	13.4%	12.5%	13.1%	13.3%	14.9%	15.4%
50歳代	6.5%	8.9%	8.6%	9.1%	10.2%	9.9%	9.8%	11.5%	12.5%	12.5%
60歳代以上	3.4%	4.6%	4.1%	4.6%	4.7%	5.0%	4.9%	5.9%	6.3%	6.2%

### (2) 平成29年の高ストレス者数及び割合

高ストレス者割合は、従来の合計点数方式の判定基準と素点換算表方式による判定基準による集計を行ったが、両方式併記の煩雑さを避けるため、本報告書においては、素点換算表に基づく判定基準で集計した高ストレス者の割合を記載する。

なお、新サービスでは、合計点数法、素点換算法のいずれの方法による場合も、判定基準に該当する人の一覧表に基づき、実施者（産業医等）が医師面接対象となる者の絞り込み、あるいは追加を行い、医師面接を受けることの勧奨をしている。したがって、高ストレス者判定基準に該当する人と、実際に医師面接を勧奨した人とは若干異なることとなる。

#### ア. 男女別高ストレス者の割合

全衛連の高ストレス者選定基準により選定した高ストレス者男女別の状況は表13のとおりである。男性の方が3.3ポイント高くなっている。

表13 男女別高ストレス者数の割合

性別	高ストレス者数	受検者数	高ストレス者の割合
男性	145,958	980,344	14.9%
女性	71,046	610,180	11.6%

全体	217,004	1,590,524	13.6%
----	---------	-----------	-------

#### イ. 年代別高ストレス者数及び割合

年代別高ストレス者数及びその受検者に対する割合は表14のとおりである。20代、30代、40代は全体平均より高く、50代、60代では低くなっている。

表14 年代別高ストレス者数及び割合

年代	高ストレス者数	受検者数	高ストレス者の割合
10歳代	1,696	16,494	10.3%
20歳代	39,767	263,695	15.1%
30歳代	54,565	336,248	16.2%
40歳代	64,659	420,709	15.4%
50歳代	43,585	347,542	12.5%
60歳以上	12,732	205,836	6.2%
全体	217,004	1,590,524	13.6%

#### (3) 業種別高ストレス者の割合

業種別高ストレス者数及び割合は表15のとおりであり、製造業（16.7%）、農業・林業（14.8%）、情報通信業（14.0%）が高い。

なお、業種別の傾向については、一部受検者数が小さい業種もあるため、個別事業場の結果が大きく影響を及ぼしていることも考えられ、今後の推移をみていく必要がある。

表15 業種別高ストレス者の割合

業種	高ストレス者数	受検者数	高ストレス者の割合
農業、林業	821	5,563	14.8%
漁業	48	525	9.1%
鉱業、採石業、砂利採取業	92	837	11.0%
建設業	4,202	37,104	11.3%
製造業	89,195	534,565	16.7%
電気・ガス・熱供給・水道業	1,104	10,701	10.3%
情報通信業	3,197	22,909	14.0%
運輸業、郵便業	15,078	116,302	13.0%
卸業、小売業	20,549	150,936	13.6%
金融業、保険業	4,886	46,531	10.5%
不動産業、物品賃貸業	535	5,330	10.0%
学術研究、専門・技術サービス業	1,205	10,226	11.8%
宿泊業、飲食業	3,645	27,405	13.3%

生活関連サービス業、娯楽業	2,005	14,464	13.9%
教育、学習支援業	9,581	90,147	10.6%
医療、福祉	21,193	163,562	13.0%
複合サービス事業	3,662	28,107	13.0%
サービス業（他に分類されないもの）	10,145	76,873	13.2%
公務（他に分類されるものを除く）	20,680	209,341	9.9%
その他	5,181	39,096	13.3%
全業種	217,004	1,590,524	13.6%
食料品製造業	10,973	69,958	15.7%
飲料・たばこ・飼料製造業	415	2,601	16.0%
繊維工業	2,721	18,131	15.0%
木材・木製品製造業（家具を除く）	669	3,654	18.3%
家具・装備品製造業	767	6,603	11.6%
パルプ・紙・紙加工品製造業	1,507	8,122	18.6%
印刷・同関連業	3,030	16,565	18.3%
化学工業	2,267	16,985	13.3%
石油製品・石炭製品製造業	93	821	11.3%
プラスチック製品製造業	3,699	20,482	18.1%
ゴム製品製造業	1,662	9,823	16.9%
なめし皮・銅製品・毛皮製造業	32	341	9.4%
窯業・土石製品製造業	1,375	8,273	16.6%
鉄鋼業	2,423	15,602	15.5%
非鉄金属製造業	2,009	12,704	15.8%
金属製品製造業	9,865	53,349	18.5%
はん用機械器具製造業	3,263	17,081	19.1%
生産用機械器具製造業	2,173	13,715	15.8%
業務用機械器具製造業	1,690	9,757	17.3%
電子部品・デバイス・電子回路製造業	5,193	30,079	17.3%
電気機械器具製造業	8,611	52,948	16.3%
情報通信機械器具製造業	457	2,860	16.0%
輸送用機械器具製造業	14,637	85,408	17.1%
その他の製造業	9,664	58,703	16.5%

## 6 評価領域別平均ストレス評価点数（素点換算）

ストレスの点数は、従来の合計点数方式の計算（ストレス合計点数）と素点換算表方式による計算（ストレス評価点数）を行ったが、両方式併記の煩雑さを避けるため、この項目においては、素点換算表により計算したストレス評価点数記載する。ストレス評価点数は、数値が小さいほどストレスが大きいことに留意する必要がある。

### (1) 男女別の評価領域別平均ストレス評価点数

男女別の評価領域別平均ストレス評価点数は表16のとおりである。各領域において男性が若干点数が小さく、ストレス度が高いことを示している。

表16 男女別平均ストレス評価点数

	受検者数	受検者の割合	B領域	A領域	C領域
			心とからだに現れた反応 (29項目)	仕事のストレス要因 (17項目)	サポート (9項目)
全体	1,590,524	100.0%	18.6	26.4	9.2
男性	980,344	61.6%	18.4	26.4	9.0
女性	610,180	38.4%	18.9	26.5	9.7

### (2) 年代別平均ストレス評価点数

年代別の平均ストレス評価点数は表17のとおりである。B領域では20代、30代、40代が小さく、A領域では、30代、40代でやや小さい。C領域は40代以降で小さくなっている。

表17 年代別平均ストレス評価点数

	受検者数	受検者の割合	B領域	A領域	C領域
			心とからだに現れた反応 (29項目)	仕事のストレス要因 (17項目)	サポート (9項目)
全体	1,590,524	100.0%	18.6	26.4	9.2
10歳代	16,494	1.0%	19.3	27.2	10.4
20歳代	263,695	16.6%	18.1	26.3	9.8
30歳代	336,248	21.1%	17.9	26.0	9.4
40歳代	420,709	26.5%	18.2	26.1	9.1
50歳代	347,542	21.9%	18.8	26.4	8.9
60歳代	205,836	12.9%	20.7	27.9	9.1

### (3) 業種別平均ストレス評価点数

業種別平均ストレス点数は表18のとおりである。

B領域の平均ストレス点数は、製造業、情報通信業、宿泊業・飲食業で全体平均より小さくなっている。

A領域では、農業・林業、製造業、医療・福祉で点数が小さく、C領域では、農業・林業、鉱業・採石業・砂利採取業、建設業、製造業、サービス業などの点数が小さくなっている。

各領域とも製造業の数値が大きく平均を下回っている。

表18 業種別平均ストレス評価点数

	受検者数	受検者の割合	B領域	A領域	C領域
			心とからだに現れた反応(29項目)	仕事のストレス要因(17項目)	サポート(9項目)
全体	1,590,524	100.0%	18.6	26.4	9.2
農業、林業	5,563	0.4%	18.8	26.0	9.1
漁業	525	0.0%	18.9	26.9	9.3
鉱業、採石業、砂利採取業	837	0.1%	19.1	27.2	9.1
建設業	37,104	2.3%	18.8	27.1	9.1
製造業	534,565	33.6%	18.0	25.6	8.9
電気・ガス・熱供給・水道業	10,701	0.7%	19.1	27.5	9.3
情報通信業	22,909	1.4%	18.2	27.5	9.0
運輸業、郵便業	116,302	7.3%	18.8	26.6	8.8
卸業、小売業	150,936	9.5%	18.6	26.5	9.4
金融業、保険業	46,531	2.9%	18.7	27.1	9.8
不動産業、物品賃貸業	5,330	0.3%	19.2	27.4	9.5
学術研究、専門・技術サービス業	10,226	0.6%	18.9	27.8	9.2
宿泊業、飲食業	27,405	1.7%	18.4	26.4	9.3
生活関連サービス業、娯楽業	14,464	0.9%	18.7	26.4	9.2
教育、学習支援業	90,147	5.7%	19.1	27.4	9.9
医療、福祉	163,562	10.2%	18.6	26.1	9.6
複合サービス事業	28,107	1.8%	18.7	26.7	9.3
サービス業(他に分類されないもの)	76,873	4.8%	18.9	26.6	9.1
公務(他に分類されるものを除く)	209,341	13.2%	19.4	27.4	9.8
その他	39,096	2.5%	18.8	26.8	9.2

### (4) 時間外労働時間と平均ストレス評価点数

全衛連サービスでは、57項目の質問の他に「先月の時間外労働時間(残業)はどれくらいでしたか」「医師等に相談したいことはありますか」の2項目を加えた59項目のチェックシ

ートを用意している（事業場の希望により、これら2項目を除いた57項目のチェックシートも用意）。これは、医師面接及び相談対応の対象者を選定する上での、あるいは医師、保健師による保健指導を行う上での参考として活用するためである。

「先月の時間外労働時間（残業）はどれくらいでしたか」に回答のあった者について、時間外労働時間数と領域別のストレス評価点数について集計した（時間外労働時間の質問のないチェックシートを利用したものは「不明」に分類）。

時間外労働時間と平均ストレス得点の関係をみるとA領域においてはもちろん、B領域、C領域においても時間外労働時間が長くなるに従い平均ストレス評価点数が小さくなっている。

時間外労働時間の長さが職場のストレスと密接に関係していることがわかる（表19）。

表19 時間外労働時間と平均ストレス評価点数

前月の 時間外労働時間	受検者数	受検者の 割合	B領域	A領域	C領域
			心とからだ に現れた反 応（29項 目）	仕事のスト レス要因 （17項目）	サポート （9項目）
全体	1,590,524	100.0%	18.6	26.4	9.2
0～45	281,443	17.7%	18.9	26.8	9.4
45～60	30,873	1.9%	17.4	25.4	9.1
60～80	18,044	1.1%	17.2	25.3	9.1
80～100	6,620	0.4%	16.7	25.0	9.1
100時間以上	4,028	0.2%	16.1	24.7	9.0
不明	1,249,516	78.6%	18.6	26.4	9.2

（5）相談希望者の平均ストレス評価点数

上記（4）で説明した相談機能の有無を加えたチェックシートを使用して得られた相談希望者の状況は表20のとおりである。

相談希望者のストレスの状態を平均ストレス評価点数でみると、A領域、B領域、C領域とも全体平均より点数が小さいが、高ストレス者の平均よりは大きかった。

表20 相談希望者の平均ストレス評価点数

	受検者数	受検者の 割合	B領域	A領域	C領域
			心とからだに 現れた反応 （29項目）	仕事のスト レス要因 （17項目）	サポート （9項目）
全体	1,590,524	100.0%	18.6	26.4	9.2
高ストレス者	217,004	13.6%	10.8	20.9	7.2
相談希望	17,096	1.1%	15.0	24.2	8.4
うち高ストレス者	6,171	0.4%	9.9	20.4	7.1
うち高ストレス者以外	10,925	0.7%	17.9	26.4	9.1

## 5 仕事量、コントロール度、サポートの状況と平均ストレス合計点数

仕事上のストレス要因を評価するためのモデル「Demands-Control model」では、「仕事の負担（量）」、「仕事のコントロール度」、「上司・同僚のサポート」の3つの要素が、労働者の仕事のストレスに大きく影響しているとされている。

ストレスチェック制度は、本来、心身のストレス反応、特に心理的ストレス反応の状態を把握して気づきを促し、メンタルヘルス不調に陥ることを未然に防止することにあることから、上記3つの要素が心身のストレス反応にどのように影響しているかについて関連をみた。

「仕事の負担（量）」に関する質問は、表9の質問1～3、「仕事のコントロール度」は同8～10、「上司・同僚のサポート」は、47、48、50、51、53、54である。この合計点（合計点方式による）が9点以上（「上司・同僚のサポート」は18点以上）のストレスの大きいグループ（各問の平均が3点以上、すなわち、仕事の負担では、概ね「そうだ」、「まあそうだ」に回答、仕事のコントロールでは、概ね「ちがう」、「ややちがう」に回答、上司、同僚のサポートでは、概ね「非常に」、「かなり」に回答）とそれ以外のストレスの小さいグループを比較した。

「仕事の負担（量）」、「仕事のコントロール度」、「上司・同僚のサポート」について、ストレスの大きいグループとそれ以外のグループの平均ストレス合計点数を比較すると、当然のことながら各領域ともストレス大きいグループの方が大きくなっている（表21～23）。「仕事の負担（量）」、「仕事のコントロール度」、「上司・同僚のサポート」の状況が、心身のストレス反応に大きく影響していることがわかる。

また、ストレスの大きいグループとそれ以外のグループの平均ストレス合計点数の差は、「仕事の負担（量）」よりも「仕事のコントロール度」、「上司・同僚のサポート」の方が大きい。このことから、チェックシートの回答を単純に集計した合計点で各要素の該当程度を評価した場合には、「仕事の負担（量）」よりも、「仕事のコントロール度」、「上司・同僚のサポート」の状況の方が、より心身のストレス反応に影響していることがわかる。

表2 1 仕事の負担（量）と平均ストレス合計点数

	該当 受検者数	全体に 対する割合	心とから だに現れ た反応 29項目	うち心理 的反応 18項目	うち抑 うつ 6項目	うち身 体愁訴 11項目
			平均ストレス合計点数			
受検者全体	1,590,524	100.0%	57.2	37.9	10.3	19.4
仕事負担（量） 点数 $\geq$ 9/12・・・①	735,774	46.3%	61.8	41.3	11.3	20.5
仕事負担（量） 点数 $<$ 9/12・・・②	854,750	53.7%	53.3	34.9	9.5	18.4
① - ②			8.6	6.4	1.8	2.1

表2 2 仕事のコントロール度と平均ストレス合計点数

	該当 受検者数	全体に 対する 割合	心とから だに現れ た反応 29項目	うち心理 的反応 18項目	うち抑 うつ 6項目	うち身 体愁訴 11項目
			平均ストレス合計点数			
受検者全体	1,590,524	100.0%	57.2	37.9	10.3	19.4
仕事のコントロール度 点数 $\geq$ 9/12・・・①	465,791	29.3%	63.7	42.7	11.8	21.1
仕事のコントロール度 点数 $<$ 9/12・・・②	1,124,733	70.7%	54.6	35.9	9.7	18.6
① - ②			9.2	6.7	2.1	2.4

表2 3 上司及び同僚のサポートと平均ストレス合計点数

	該当 受検者数	全体に 対する 割合	心とから だに現れ た反応 29項目	うち心理 的反応 18項目	うち抑 うつ 6項目	うち身 体愁訴 11項目
			平均ストレス合計点数			
受検者全体	1,590,524	100.0%	57.2	37.9	10.3	19.4
同僚のサポート 点数 $\geq$ 18/24・・・①	419,354	26.4%	64.3	43.0	12.1	21.3
同僚のサポート 点数 $<$ 18/24・・・②	1,171,170	73.6%	54.7	36.1	9.7	18.7
① - ②			9.6	7.0	2.3	2.6

## 8 健康リスク

厚生労働省が示した「仕事のストレス判定図」作成モデルでは、「健康リスク」を全国平均が100になるよう設定されている。

このモデルの考えに従って163万件のデータを性別、年代別、業種別、職種・雇用形態・職位別に計算した。

### (1) 男女別健康リスク

「総合健康リスク」が男性100、女性95であった（表24）。

仕事の負担と、職場の支援の健康リスクを比較してみると、男性は職場の支援の健康リスクが大きく、女性は仕事の負担の健康リスクが大きくなっている。総合健康リスクは男性が大きくなっている。

### (2) 年代別健康リスク

総合健康リスクを年代別にみると、男性では、30代、40代、50代が高く、女性では、50代、大きくなっている（表23）。

年代別に仕事の負担と職場の支援の健康リスクを比較してみると、高齢世代で職場の支援が得られていない傾向がみられる。

\* 参考までに平成28年の性別・年代別健康リスクを表24の次に掲載した。

上記（1）及び（2）の傾向は昨年もほぼ同様であった。

表24 平成29年性別、年代別健康リスク

	対象 受検者 数	仕事の負担 平均得点		職場の支援 平均得点		健康リスク		
		量的 負担	コント ロール 度	上司	同僚	仕事の 負担	職場の 支援	総合
厚生労働省研究モデル 全国平均（男性）	—	8.7	7.9	7.5	8.1	100	100	100
全衛連平均（男性）	980344	8.2	7.6	7.4	7.9	98	103	100
10歳代	9841	8.1	7.3	8.3	8.6	101	88	88
20歳代	153635	8.4	7.6	7.9	8.3	100	94	94
30歳代	213914	8.6	7.5	7.5	8.0	102	100	102
40歳代	258220	8.5	7.5	7.3	7.8	101	105	106
50歳代	207167	8.1	7.7	7.2	7.6	97	108	104
60歳以上	137567	6.8	8.0	7.3	7.7	85	106	90
厚生労働省研究モデル 全国平均（女性）	—	8.7	7.9	7.5	8.1	100	100	100
全衛連平均（女性）	610180	8.1	7.4	7.1	8.1	99	96	95
10歳代	6653	7.8	7.1	7.7	8.5	99	87	86
20歳代	110060	8.1	7.5	7.5	8.3	99	90	89
30歳代	122334	8.1	7.4	7.2	8.2	99	94	93
40歳代	162489	8.1	7.3	7.1	8.1	100	96	96
50歳代	140375	8.2	7.3	6.9	7.9	100	100	100
60歳以上	68269	7.5	7.5	6.9	7.8	96	101	96

(参考) 平成28年性別、年代別健康リスク

	対象 受検者数	仕事の負担 平均得点		職場の支援 平均得点		健康リスク		
		量的 負担	コント ロール度	上司	同僚	仕事の 負担	職場の 支援	総合
厚生労働省研究モデル 全国平均 (男性)	-	8.7	7.9	7.5	8.1	100	100	100
全衛連平均 (男性)	525,840	7.7	7.2	7.1	7.5	98	110	107
10歳代	32,591	7.8	7.2	8.3	8	99	93	92
20歳代	79,841	7.8	7.1	7.4	7.9	100	102	102
30歳代	112,297	8	7.1	7.1	7.6	101	109	110
40歳代	136,688	7.9	7.2	6.9	7.4	100	113	113
50歳代	105,040	7.5	7.3	6.8	7.2	96	116	111
60歳以上	59,383	6.5	7.6	6.8	7.2	86	116	99
厚生労働省研究モデル 全国平均 (女性)	-	7.9	7.2	6.6	8.2	100	100	100
全衛連平均 (女性)	307,412	7.6	7	6.8	7.7	99	102	100
10歳代	14,172	7.9	7.3	8.1	8.1	99	87	86
20歳代	56,677	7.7	7.1	7.1	7.9	99	98	97
30歳代	62,678	7.6	7	6.9	7.7	99	101	99
40歳代	80,484	7.7	6.9	6.7	7.7	100	103	103
50歳代	65,872	7.7	6.8	6.5	7.4	101	109	110
60歳以上	27,529	7	6.9	6.3	7.3	97	112	108

(3) 業種別健康リスク

業種別(大分類)に健康リスクをみると120を超えている業種はなく、男性では製造業(107)の健康リスクが大きく、卸業・小売業(101)及び医療・福祉(101)で100を超えている。製造業の詳細(中分類)で見ると、はん用機械器具製造業(113)、印刷・同関連業(112)及び木材・木製品製造業(111)で110を超えている。女性でも100を超えている業種は製造業(101)のみで、製造業の詳細(中分類)でも、110を超えている業種は見られない(表25、26)。

業種別に仕事の負担と職場の支援に係る健康リスクを比較すると、ほとんどの業種において職場の支援の健康リスクが大きい傾向にあり、特に男性において顕著である。

男性では金融業・保険業、教育・学習支援業において、女性では金融業・保険業、教育・学習支援業及び医療・福祉において、仕事の負担の健康リスクの方が大きく、これらの業種では、仕事の負担を強く感じている労働者が多いことがわかる。

\* 参考までに平成28年の業種別健康リスク(男性)及び同(女性)を、それぞれ表25、表26の次に掲載した。

平成28年は、男女とも120を超えている業種は男女とも見られなかったが、男性では、情報通信業及び生活関連サービス業・娯楽業で110を超えていた。

表25 平成29年業種別健康リスク（男性）

業種	対象 受検者 数	仕事の負担 平均得点		職場の支援 平均得点		健康リスク		
		量的 負担	コント ロール 度	上司	同僚	仕事の 負担	職場の 支援	総合
厚生労働省研究モデル 全国平均	—	8.7	7.9	7.5	8.1	100	100	100
全衛連男性平均	980344	8.2	7.6	7.4	7.9	98	103	100
農業、林業	3355	8.3	7.8	7.4	7.8	97	103	99
漁業	349	7.8	7.6	7.6	7.9	96	101	96
鉱業、採石業、砂利採取業	699	7.7	7.8	7.4	7.8	93	103	95
建設業	32110	8.1	7.8	7.5	7.9	96	101	96
製造業	386254	8.4	7.6	7.2	7.6	100	107	107
電気・ガス・熱供給・水道業	9367	7.9	7.8	7.8	8.1	94	97	91
情報通信業	16737	8.3	7.8	7.5	7.8	98	103	100
運輸業、郵便業	99353	7.4	7.5	7.1	7.7	94	107	100
卸業、小売業	73559	8.6	7.8	7.5	7.9	100	101	101
金融業、保険業	26107	8.6	7.7	8.0	8.2	101	94	94
不動産業、物品賃貸業	3417	8.2	8.0	7.8	8.0	95	98	93
学術研究、専門・技術サービス業	6988	8.1	8.0	7.5	7.8	94	102	95
宿泊業、飲食業	14303	7.8	7.7	7.5	7.9	94	102	95
生活関連サービス業、娯楽業	7499	8.0	7.7	7.4	7.8	96	103	98
教育、学習支援業	46788	8.8	8.0	7.9	8.4	99	93	92
医療、福祉	45648	8.4	7.5	7.6	8.0	101	100	101
複合サービス事業	16975	8.0	7.7	7.5	7.9	96	101	96
サービス業（他に分類されないもの）	50315	7.7	7.5	7.3	7.7	96	105	100
公務（他に分類されるものを除く）	116059	8.1	7.8	8.0	8.3	95	93	88
その他	24462	8.1	7.7	7.4	7.9	97	103	99
食料品製造業	33413	8.1	7.4	7.2	7.6	99	108	106
飲料・たばこ・飼料製造業	1714	8.3	7.6	7.3	7.9	99	104	102
繊維工業	9871	8.3	7.7	7.2	7.6	98	108	105
木材・木製品製造業（家具を除く）	2939	8.4	7.6	7.0	7.5	100	111	111
家具・装備品製造業	4890	7.7	7.6	7.3	7.7	94	106	99
パルプ・紙・紙加工品製造業	6042	8.2	7.4	7.0	7.5	100	110	110
印刷・同関連業	11217	8.6	7.4	7.1	7.5	103	109	112
化学工業	13169	8.2	7.8	7.4	7.8	96	103	98
石油製品・石炭製品製造業	707	7.7	7.8	7.7	8.0	93	99	92
プラスチック製品製造業	14422	8.4	7.5	7.2	7.6	101	108	109
ゴム製品製造業	7313	8.2	7.7	7.2	7.7	97	107	103
なめし皮・銅製品・毛皮製造業	198	8.1	7.9	7.2	7.4	95	110	104
窯業・土石製品製造業	6937	8.2	7.6	7.2	7.7	98	106	103
鉄鋼業	13943	7.9	7.6	7.3	7.8	96	105	100
非鉄金属製造業	9864	8.2	7.6	7.3	7.7	98	106	103
金属製品製造業	42479	8.5	7.5	7.1	7.5	101	109	110
はん用機械器具製造業	14709	8.7	7.5	7.0	7.5	103	110	113
生産用機械器具製造業	11341	8.6	7.7	7.3	7.7	100	105	105
業務用機械器具製造業	7628	8.5	7.6	7.1	7.6	101	108	109
電子部品・デバイス ・電子回路製造業	22064	8.6	7.6	7.1	7.6	101	109	110
電気機械器具製造業	37457	8.4	7.7	7.2	7.6	100	108	108
情報通信機械器具製造業	2197	8.4	7.4	7.4	7.8	102	104	106
輸送用機械器具製造業	71943	8.3	7.5	7.2	7.7	100	106	106
その他の製造業	39797	8.4	7.7	7.3	7.7	100	106	106

(参考) 平成28年業種別健康リスク (男性)

	対象 受検者数	仕事の負担 の平均得点		職場の支援の 平均得点		健康リスク		
		量的 負担	コン ト ロー ル 度	上 司 の 支 援	同 僚 の 支 援	仕 事 の 負 担	職 場 の 支 援	総 合
厚生労働省研究モデル 全国平均 (男性)	-	8.7	7.9	7.5	8.1	100	100	100
全衛連平均 (男性)	525,840	7.7	7.2	7.1	7.5	98	110	107
農業、林業	1,106	8.1	7.6	7.2	7.6	98	108	105
漁業	194	7.8	7	7.7	7.8	101	100	101
鉱業、採石業、砂利採取業	661	7.7	7.8	7.3	7.8	93	104	96
建設業	19,412	7.6	7.3	7.2	7.5	96	109	104
製造業	203,315	8.1	7.5	7.1	7.6	98	109	106
電気・ガス・熱供給・水道業	6,448	8	7.8	7.8	8.2	95	96	91
情報通信業	11,473	7.8	7.2	7	7.3	99	113	111
運輸業、郵便業	51,914	7	7	7	7.5	95	111	105
卸業、小売業	34,579	8.6	7.5	7.6	7.9	102	100	102
金融業、保険業	13,445	8.7	7.7	8	8.2	101	94	94
不動産業、物品賃貸業	1,590	7.6	7.8	7.6	7.9	92	100	92
学術研究、専門・技術サービス業	4,162	8	7.9	7.5	7.8	94	102	95
宿泊業、飲食業	3,324	8.3	7.6	7.3	7.8	99	104	102
生活関連サービス業、娯楽業	4,187	6.8	6.8	6.5	6.8	95	125	118
教育、学習支援業	24,284	8.1	7.6	7.5	7.8	98	102	99
医療、福祉	20,615	8	7.2	7.3	7.6	100	107	107
複合サービス事業	6,864	7.9	7.7	7.5	7.9	95	101	95
サービス業 (他に分類されないもの)	31,877	7.3	7.3	7	7.5	94	111	104
公務 (他に分類されるものを除く)	71,673	7.3	7.1	7.3	7.6	96	107	102
その他	14,717	7.9	7.4	7.2	7.6	98	108	105
食料品製造業	18,263	7.6	7	6.8	7.2	99	116	114
飲料・たばこ・飼料製造業	554	8.2	7.6	7.2	7.8	98	105	102
繊維工業	5,377	8.1	7.5	7.1	7.4	98	111	108
木材・木製品製造業 (家具を除く)	1,509	8.4	7.4	7	7.6	102	110	112
家具・装備品製造業	2,475	7.9	7.6	7.5	7.8	96	102	97
パルプ・紙・紙加工品製造業	3,082	7.7	7.1	6.8	7.3	99	115	113
印刷・同関連業	5,738	8.6	7.4	7.1	7.5	103	110	113
化学工業	6,891	7.5	7.3	7	7.4	96	112	107
石油製品・石炭製品製造業	430	7.4	7.8	7.5	7.9	91	101	91
プラスチック製品製造業	6,566	7.9	7.2	6.8	7.2	100	116	116
ゴム製品製造業	5,504	8	7.5	7.1	7.6	98	109	106
なめし皮・銅製品・毛皮製造業	81	8.6	7.5	6.9	6.9	102	119	121
窯業・土石製品製造業	3,851	7.7	7.3	6.8	7.2	97	116	112
鉄鋼業	12,737	7.2	7.3	7	7.4	94	112	105
非鉄金属製造業	4,977	8.3	7.4	7	7.6	101	110	111
金属製品製造業	26,611	8	7.2	6.8	7.3	100	115	115
はん用機械器具製造業	5,845	8.1	7.5	7	7.4	98	112	109
生産用機械器具製造業	5,422	8.1	7.4	7	7.4	99	112	110
業務用機械器具製造業	3,152	8	7.3	6.8	7.4	99	114	112
電子部品・デバイス・電子回路製造業	9,210	7.7	6.9	6.5	6.9	101	123	124
電気機械器具製造業	19,556	7.7	7.4	7	7.4	96	112	107
情報通信機械器具製造業	1,045	7.2	7	6.7	7.1	96	119	114
輸送用機械器具製造業	35,084	7.7	7.1	6.9	7.4	99	113	111
その他の製造業	19,355	8.4	7.5	7.1	7.6	101	109	110

表26 平成29年業種別健康リスク（女性）

業種	対象 受検者数	仕事の負担 平均得点		職場の支援 平均得点		健康リスク		
		量的 負担	コント ロール 度	上司	同僚	仕事の 負担	職場の 支援	総合
厚生労働省研究モデル 全国平均	—	7.9	7.2	6.6	8.2	100	100	100
全衛連女性平均	610180	8.1	7.4	7.1	8.1	99	96	95
農業、林業	2208	7.7	7.1	6.8	7.8	99	101	99
漁業	176	7.1	6.9	7.2	7.7	97	99	96
鉱業、採石業、砂利採取業	138	6.9	7.9	7.0	7.9	92	98	90
建設業	4994	7.2	7.9	7.1	7.8	93	98	91
製造業	148311	7.7	7.3	6.6	7.7	98	104	101
電気・ガス・熱供給・水道業	1334	7.3	7.9	7.1	7.8	93	98	91
情報通信業	6172	7.7	7.5	7.1	7.8	97	98	95
運輸業、郵便業	16949	7.4	7.4	6.8	7.8	96	102	97
卸業、小売業	77377	8.0	7.5	7.0	8.1	98	97	95
金融業、保険業	20424	7.7	7.1	7.5	8.2	99	91	90
不動産業、物品賃貸業	1913	7.8	8.0	7.1	8.0	95	96	91
学術研究、専門・技術サービス業	3238	7.7	7.8	7.1	7.9	95	97	92
宿泊業、飲食業	13102	7.7	7.3	7.1	8.2	98	94	92
生活関連サービス業、娯楽業	6965	7.9	7.3	6.9	8.0	99	98	97
教育、学習支援業	43359	8.9	7.8	7.6	8.5	101	88	88
医療、福祉	117914	8.5	7.2	7.3	8.2	102	93	94
複合サービス事業	11132	7.9	7.5	7.1	8.0	98	97	95
サービス業（他に分類されないもの）	26558	7.7	7.5	6.9	7.9	97	99	96
公務（他に分類されるものを除く）	93282	8.2	7.5	7.7	8.4	99	88	87
その他	14634	7.7	7.4	7.0	8.0	98	98	96
食料品製造業	36545	7.7	6.7	6.5	7.8	101	105	106
飲料・たばこ・飼料製造業	887	7.7	7.3	6.8	7.9	98	100	98
繊維工業	8260	7.9	7.3	6.5	7.7	99	106	104
木材・木製品製造業（家具を除く）	715	7.7	7.3	6.8	7.6	98	103	100
家具・装備品製造業	1713	7.6	7.6	7.0	7.9	96	98	94
パルプ・紙・紙加工品製造業	2080	7.7	7.2	6.7	7.7	99	104	102
印刷・同関連業	5348	7.9	7.5	7.0	7.7	98	101	98
化学工業	3816	7.8	7.6	6.9	7.8	97	100	97
石油製品・石炭製品製造業	114	7.3	7.7	6.8	7.7	94	103	96
プラスチック製品製造業	6060	7.7	7.3	6.5	7.7	98	105	102
ゴム製品製造業	2510	7.7	7.6	6.8	7.8	96	102	97
なめし皮・銅製品・毛皮製造業	143	8.0	7.4	6.6	7.6	99	106	104
窯業・土石製品製造業	1336	7.4	7.8	6.9	7.7	94	101	94
鉄鋼業	1659	7.4	7.8	6.9	7.7	94	101	94
非鉄金属製造業	2840	7.7	7.6	6.8	7.9	96	101	96
金属製品製造業	10870	7.8	7.5	6.7	7.6	98	104	101
はん用機械器具製造業	2372	7.8	7.7	6.9	7.6	96	103	98
生産用機械器具製造業	2374	7.6	7.7	6.8	7.8	96	101	96
業務用機械器具製造業	2129	7.8	7.5	6.7	7.8	97	102	98
電子部品・デバイス ・電子回路製造業	8015	7.8	7.5	6.5	7.8	97	105	101
電気機械器具製造業	15491	7.7	7.4	6.5	7.7	98	105	102
情報通信機械器具製造業	663	7.7	7.2	6.6	7.7	98	105	102
輸送用機械器具製造業	13465	7.6	7.5	6.8	7.7	96	103	98
その他の製造業	18906	7.8	7.3	6.7	7.8	99	103	101

(参考) 平成28年業種別健康リスク (女性)

	対象 受検者数	仕事の負担 の平均得点		職場の支援の 平均得点		健康リスク		
		量的 負担	コン ト ロー ル 度	上 司 の 支 援	同 僚 の 支 援	仕事 の 負 担	職場 の 支 援	総合
厚生労働省研究モデル 全国平均 (女性)	-	7.9	7.2	6.6	8.2	100	100	100
全衛連平均 (女性)	307,412	7.6	7	6.8	7.7	99	102	100
農業、林業	790	8	6.8	6.5	7.7	102	105	107
漁業	126	7.3	6.5	6.8	7.7	101	102	103
鉱業、採石業、砂利採取業	65	6.8	7.8	6.8	7.5	91	104	94
建設業	3,474	6.8	7.4	6.8	7.3	93	107	99
製造業	82,614	7.6	7.1	6.6	7.7	99	104	102
電気・ガス・熱供給・水道業	580	7	7.8	7.2	7.8	92	98	90
情報通信業	4,178	7.2	7	6.7	7.4	97	107	103
運輸業、郵便業	9,113	7.1	7.1	6.6	7.5	96	107	102
卸業、小売業	24,840	7.8	7.3	7	7.9	98	99	97
金融業、保険業	10,549	7.8	7.1	7.5	8.2	100	91	91
不動産業、物品賃貸業	719	7.7	7.6	7	7.8	96	100	96
学術研究、専門・技術サービス業	1,629	7.7	7.8	7.2	7.9	95	97	92
宿泊業、飲食業	2,771	7.9	7.3	7.1	8	99	97	96
生活関連サービス業、娯楽業	3,308	7.1	6.8	6.5	7.3	98	110	107
教育、学習支援業	21,283	8.3	7.4	7.3	7.9	100	96	96
医療、福祉	52,926	8.1	6.9	7	7.9	102	99	100
複合サービス事業	4,858	7.9	7.3	6.9	7.8	99	100	99
サービス業 (他に分類されないもの)	15,338	7.3	7.1	6.7	7.6	97	104	100
公務 (他に分類されるものを除く)	60,238	7.7	6.9	7.1	7.7	100	100	100
その他	8,013	7.5	7.1	6.8	7.7	98	102	99
食料品製造業	21,706	7.2	6.2	6.1	7.3	102	114	116
飲料・たばこ・飼料製造業	392	7.9	7.1	6.7	8.1	100	100	100
繊維工業	5,317	7.9	7.1	6.4	7.6	100	108	108
木材・木製品製造業 (家具を除く)	375	7.8	7.4	6.8	7.7	98	102	99
家具・装備品製造業	825	7.7	7.6	7.1	7.9	96	98	94
パルプ・紙・紙加工品製造業	822	7.2	6.8	6.3	7.2	98	113	110
印刷・同関連業	2,807	8	7.4	7	7.8	99	100	99
化学工業	2,038	7.3	7.2	6.6	7.5	97	107	103
石油製品・石炭製品製造業	103	7.2	7.4	7.3	7.9	95	96	91
プラスチック製品製造業	2,981	7.5	7	6.3	7.4	99	111	109
ゴム製品製造業	1,935	7.7	7.6	6.7	7.6	96	104	99
なめし皮・銅製品・毛皮製造業	99	7.6	6.7	6.3	7.5	101	110	111
窯業・土石製品製造業	891	7.2	7.2	6.4	7.3	96	111	106
鉄鋼業	1,924	7.4	7.4	6.7	7.4	96	107	102
非鉄金属製造業	1,303	7.5	7.4	6.5	7.4	97	109	105
金属製品製造業	6,864	7.6	7.3	6.4	7.5	98	109	106
はん用機械器具製造業	1,446	7.3	7.6	6.9	7.6	95	102	96
生産用機械器具製造業	1,381	7.3	7.4	6.6	7.5	96	107	102
業務用機械器具製造業	1,045	7.5	7.4	6.6	7.5	97	107	103
電子部品・デバイス・電子回路製造業	3,062	7.5	7.2	6.4	7.5	98	109	106
電気機械器具製造業	8,739	7.3	7	6.3	7.4	98	111	108
情報通信機械器具製造業	469	7.4	6.8	6.3	7.4	99	111	109
輸送用機械器具製造業	7,364	7.2	7.2	6.5	7.4	96	109	104
その他の製造業	8,726	7.8	7.2	6.6	7.8	99	103	101

#### (4) 職種別健康リスク

職種別の総合健康リスクは、男女とも 120 を超えている職種はなく、総合健康リスクの最も大きい職種は男女とも技能職（生産工程／労務作業）である。技能職では、職場の支援に係る健康リスクが大きく、支援の得られにくい職種であることがうかがえる（表 25、26）。

#### (5) 雇用形態別健康リスク

雇用形態別の総合健康リスクは、男性では正規社員、女性では出向社員が大きくなっている。仕事の負担、職場の支援の健康リスクを比較してみると、男性では各雇用形態とも職場の支援の健康リスクの方が大きく、女性では派遣社員以外は、仕事の負担の健康リスクの方が大きくなっている。男性は職場の支援が得られず、女性は仕事の負担を感じている人が多い傾向となっている（表 27、28）。

#### (6) 職位別健康リスク

職位別の総合健康リスクは、管理職では一般職員より概して概して小さい傾向にあるが、女性管理職の仕事の負担に係る健康リスクのみ一般職員より、また平均値より大きい。仕事の負担を感じている女性管理職が多いことがうかがえる（表 27、28）。

\* 参考までに平成 28 年の職種別、雇用形態別、職位別健康リスク（男性）及び同（女性）を、それぞれ表 27、表 28 の次に掲載した。

上記（4）、（5）、（6）の傾向は平成 28 年においても、ほぼ同様であった。

表27 平成29年職種別、雇用形態別、職位別健康リスク（男性）

	対象 受検者 数	仕事の負担 平均得点		職場の支援 平均得点		健康リスク		
		量的 負担	コント ロール 度	上司	同僚	仕事の 負担	職場の 支援	総合
厚生労働省研究モデル全国平均（男性）	—	8.7	7.9	7.5	8.1	100	100	100
全衛連平均（男性）	980344	8.2	7.6	7.4	7.9	98	103	100
職種								
専門・技術職	37800	8.4	7.7	7.6	7.9	99	100	99
事務職	24463	8.2	7.9	7.7	8.0	96	99	95
営業職	11435	8.7	7.8	7.7	8.0	100	99	99
販売職	3208	8.9	7.7	7.6	8.1	103	99	101
サービス職	4629	8.1	7.4	7.4	7.9	100	102	102
運輸・通信職	9077	7.1	7.6	6.9	7.6	90	110	99
技能職(生産工程/労務作業)	36416	8.2	7.4	7.0	7.6	101	109	110
その他	42006	8.1	7.6	7.4	7.9	98	102	99
未記入	811310	8.2	7.7	7.4	7.9	98	103	100
雇用形態								
正規社員	133938	8.4	7.6	7.4	7.9	100	103	103
出向社員	2343	8.2	7.7	7.5	7.9	97	102	98
派遣社員	2274	7.8	7.8	7.3	7.9	94	104	97
パート社員	7981	7.2	7.6	7.2	7.7	91	107	97
その他	41637	7.9	7.6	7.4	7.9	96	103	98
未記入	792171	8.2	7.7	7.4	7.9	98	103	100
職位								
管理職	28268	8.6	8.2	7.6	8.0	96	100	96
その他	163785	8.2	7.5	7.4	7.8	99	103	101
未記入	788291	8.2	7.7	7.4	7.9	98	103	100

(参考) 平成28年職種別、雇用形態別、職位別健康リスク (男性)

	対象 受検者数	仕事の負担 の平均得点		職場の支援の 平均得点		健康リスク		
		量的 負担	コン ト ロー ル 度	上 司 の 支 援	同 僚 の 支 援	仕事 の 負 担	職場 の 支 援	総合
厚生労働省研究モデル 全国平均 (男性)	-	8.7	7.9	7.5	8.1	100	100	100
全衛連平均 (男性)	525,840	7.7	7.2	7.1	7.5	98	110	107
職種								
専門・技術職	17,235	8.3	7.8	7.6	8	97	100	97
事務職	10,409	8.2	8	7.7	8	95	99	94
営業職	4,769	8.5	7.9	7.6	8	98	100	98
販売職	1,948	8.8	7.7	7.5	8	102	100	102
サービス職	1,789	7.8	7.3	7.3	7.9	98	103	100
運輸・通信職	3,794	7.2	7.5	6.9	7.6	92	111	102
技能職 (生産工程/労務作業)	17,189	8.2	7.4	7.1	7.7	100	108	108
その他 (どれにも該当しない場合)	22,498	8.2	7.5	7.4	7.9	99	102	100
未入力	446,209	7.6	7.1	7	7.4	98	112	109
雇用形態								
正規社員	63,625	8.4	7.7	7.4	7.9	99	102	100
出向社員	718	8.1	7.9	7.7	8.1	95	98	93
派遣社員	755	7.5	7.5	7.2	7.8	94	105	98
パート社員	3,161	7.1	7.5	7.2	7.6	91	108	98
その他 (どれにも該当しない場合)	22,740	8	7.6	7.4	7.8	97	103	99
未記入	434,841	7.6	7.1	7	7.4	98	112	109
職位								
管理職	12,173	8.5	8.3	7.7	8	95	99	94
その他	75,877	8.2	7.5	7.4	7.8	99	103	101
未記入	437,790	7.6	7.1	7	7.4	98	112	109

表28 平成29年職種別、雇用形態別、職位別健康リスク（女性）

	対象 受検者数	仕事の負担 平均得点		職場の支援 平均得点		健康リスク		
		量的 負担	コント ロール 度	上司	同僚	仕事の 負担	職場の 支援	総合
厚生労働省研究モデル全国平均（女性）	—	8.7	7.9	7.5	8.1	100	100	100
全衛連平均（女性）	610180	8.1	7.4	7.1	8.1	99	96	95
職種								
専門・技術職	23466	8.6	7.3	7.4	8.3	102	91	92
事務職	20677	7.7	7.7	7.2	8.1	96	95	91
営業職	2359	8.2	7.7	7.4	8.2	98	92	90
販売職	4362	8.3	7.2	7.1	8.2	101	94	94
サービス職	4786	8.2	7.1	7.3	8.2	101	93	93
運輸・通信職	893	7.1	7.5	7.0	7.7	94	101	94
技能職（生産工程/労務作業）	13162	7.8	6.9	6.4	7.7	101	107	108
その他	27229	8.0	7.4	7.1	8.2	99	95	94
未記入	513246	8.1	7.4	7.1	8.1	99	96	95
雇用形態								
正規社員	56535	8.4	7.4	7.3	8.1	101	95	95
出向社員	1142	7.9	7.0	7.0	8.0	101	98	98
派遣社員	1693	7.3	7.5	6.9	7.8	95	100	95
パート社員	28518	7.6	7.1	6.9	8.1	99	97	96
その他	28996	7.9	7.4	7.1	8.2	98	95	93
未記入	493296	8.1	7.4	7.1	8.1	99	96	95
職位								
管理職	3359	9.0	8.0	7.6	8.2	101	91	91
その他	106014	8.0	7.3	7.1	8.1	99	96	95
未記入	500807	8.1	7.4	7.1	8.1	99	96	95

(参考) 平成28年職種別、雇用形態別、職位別健康リスク (女性)

	対象 受検者数	仕事の負担 の平均得点		職場の支援の 平均得点		健康リスク		
		量的 負担	コン ト ロー ル度	上司 の支 援	同僚 の支 援	仕事 の負 担	職場の 支援	総合
厚生労働省研究モデル 全国平均 (女性)	-	7.9	7.2	6.6	8.2	100	100	100
全衛連平均 (女性)	307,412	7.6	7	6.8	7.7	99	102	100
<b>職種</b>								
専門・技術職	8,122	8.4	7.3	7.4	8.3	101	91	91
事務職	8,166	7.6	7.8	7.2	8	95	96	91
営業職	904	8.2	7.7	7.5	8.2	98	91	89
販売職	2,187	7.9	7.3	7.1	8.2	99	95	94
サービス職	1,675	8.1	7	7.2	8.2	102	94	95
運輸・通信職	229	7	7.6	6.8	7.9	93	100	93
技能職 (生産工程/労務作業)	6,164	7.7	6.9	6.5	7.7	100	105	105
その他 (どれにも該当しない場合)	12,884	8	7.4	7.1	8.1	99	96	95
未入力	267,081	7.6	6.9	6.8	7.6	100	103	103
<b>雇用形態</b>								
正規社員	24,016	8.3	7.4	7.2	8.1	100	95	95
出向社員	342	7.7	7.4	7.3	8.2	97	93	90
派遣社員	684	7.2	7.3	6.8	7.8	96	101	96
パート社員	10,366	7.5	7.1	6.9	8.1	98	98	96
その他 (どれにも該当しない場合)	13,713	8	7.4	7.1	8.1	99	96	95
未記入	258,291	7.6	6.9	6.7	7.6	100	104	104
<b>職位</b>								
管理職	1,471	8.8	7.8	7.5	8.2	100	91	91
その他	44,030	8	7.3	7.1	8.1	99	96	95
未記入	261,911	7.6	6.9	6.7	7.6	100	104	104

## 9 医師面接及び相談対応

### 医師面接、相談対応の状況

全衛連サービスの特徴は、ストレスチェック、ストレスチェックに基づく医師面接、相談対応を一体的に実施することにある。医師面接及び相談対応の実施状況については、別途アンケートを実施した。アンケートに回答した94機関中医師面接を実施した機関は69機関、相談対応を実施した機関は35機関であった。

医師面接及び相談対応の実施結果は表4のとおりである。

医師面接対象者の割合は全体の約12.6%、医師面接実施は、対象者の2.5%であった。これは、厚生労働省が平成29年7月に公表した高ストレス者判定された者に対する医師面接実施率(6%)に比べ約4倍であった。

また、相談対応を実施したのはストレスチェック実施者の0.3%にとどまっている。

表29 医師面接及び相談対応実施状況

	契約事業場	ストレスチェック実施従業員数	医師面接対象者数 (%)	実施数(%)
医師面接	5,247	696,499	88,430 (12.6%)	2,242 (2.5%)
相談対応	1,985	215,805	—	523 (0.3%)

## 10 職場評価

### 職場評価実施状況

職場評価実施状況については、別途アンケートを実施した。

アンケートに回答した会員89機関すべてでストレスチェック結果に基づき職場評価を実施しており、評価事業場数は14,777事業場(ストレスチェック実施事業場の76%、1機関平均166事業場)、評価集団数は75,553(1事業場平均の評価集団数は5.1)であった。(表30)

表30 職場評価実施事業場数、集団数1機関平均実施数、1事業場平均実施数

ストレスチェック実施事業場数	職場評価実施事業場数	職場評価実施集団数	1事業場当たり平均評価集団数
19,453	14,777 (76.0%)	75,553	5.1



(参考2) 素点換算表 (職業性ストレス簡易調査票57項目を利用する場合)

尺度	計算 No.は質問項目得点	得点	男性					女性				
			低い/ 少い	やや低い /少い	普通	やや高い /多い	高い/ 多い	低い/ 少い	やや低い /少い	普通	やや高い /多い	高い/ 多い
			上段:質問項目合計得点 下段は分布(n=15,933)					上段:質問項目合計得点 下段は分布(n=8,447)				
<b>【ストレスの原因と考えられる因子】</b>												
心理的な仕事の負担(量)	15-(No.1+No.2+No.3)		3-5	6-7	8-9	10-11	12	3-4	5-6	7-9	10-11	12
			7.2%	18.9%	40.8%	22.7%	10.4%	6.6%	20.4%	51.7%	15.6%	5.8%
心理的な仕事の負担(質)	15-(No.4+No.5+No.6)		3-5	6-7	8-9	10-11	12	3-4	5-6	7-8	9-10	11-12
			4.5%	20.6%	43.4%	25.7%	5.7%	4.9%	17.5%	38.2%	29.1%	10.3%
自覚的な身体的負担度	5-No.7			1	2	3	4		1	2	3	4
				33.8%	39.3%	18.7%	8.2%		37.0%	33.7%	19.7%	9.6%
職場の対人関係でのストレス	10-(No.12+No.13)+No.14		3	4-5	6-7	8-9	10-12	3	4-5	6-7	8-9	10-12
			5.7%	24.8%	47.5%	17.6%	4.5%	7.3%	26.8%	41.0%	18.4%	6.4%
職場環境によるストレス	5-No.15			1	2	3	4	1		2	3	4
				25.1%	38.0%	23.1%	13.8%	17.7%		31.7%	28.8%	21.7%
仕事のコントロール度	15-(No.8+No.9+No.10)		3-4	5-6	7-8	9-10	11-12	3	4-5	6-8	9-10	11-12
			5.4%	16.6%	37.1%	32.4%	8.5%	5.5%	16.0%	48.8%	23.3%	6.3%
技能の活用度	No.11		1	2	3	4		1	2	3	4	
			4.5%	18.2%	49.4%	27.9%		9.1%	26.7%	45.6%	18.6%	
仕事の適性度	5-No.16		1	2	3		4	1	2	3		4
			6.4%	23.3%	54.9%		15.4%	9.3%	25.9%	49.7%		15.1%
働きがい	5-No.17		1	2	3		4	1	2	3		4
			7.3%	24.2%	51.4%		17.0%	13.1%	29.3%	44.5%		13.1%
<b>【ストレスによっておこる心身の反応】</b>												
活気	No.1+No.2+No.3		3	4-5	6-7	8-9	10-12	3	4-5	6-7	8-9	10-12
			10.9%	14.3%	41.6%	24.5%	8.7%	13.4%	19.2%	37.3%	21.3%	8.8%
イライラ感	No.4+No.5+No.6		3	4-5	6-7	8-9	10-12	3	4-5	6-8	9-10	11-12
			10.3%	20.9%	38.2%	22.7%	7.8%	7.6%	18.2%	45.1%	20.3%	8.8%
疲労感	No.7+No.8+No.9		3	4	5-7	8-10	11-12	3	4-5	6-8	9-11	12
			9.7%	12.2%	47.4%	23.3%	7.4%	6.2%	23.2%	40.1%	23.1%	7.4%
不安感	No.10+No.11+No.12		3	4	5-7	8-9	10-12	3	4	5-7	8-10	11-12
			8.3%	14.9%	51.9%	17.8%	7.1%	12.3%	15.6%	44.7%	21.6%	5.8%
抑うつ感	No.13~No.18の合計		6	7-8	9-12	13-16	17-24	6	7-8	9-12	13-17	18-24
			15.1%	21.6%	40.6%	16.2%	6.5%	12.4%	18.9%	39.3%	22.3%	7.2%
身体愁訴	No.19~No.29の合計		11	12-15	16-21	22-26	27-44	11-13	14-17	18-23	24-29	30-44
			5.3%	31.0%	40.5%	15.9%	7.4%	8.3%	23.6%	38.6%	21.7%	7.8%
<b>【ストレス反応に影響を与える他の因子】</b>												
上司からのサポート	15-(No.1+No.4+No.7)		3-4	5-6	7-8	9-10	11-12	3	4-5	6-7	8-10	11-12
			6.9%	27.0%	32.8%	24.7%	8.7%	7.5%	22.0%	38.9%	26.7%	4.9%
同僚からのサポート	15-(No.2+No.5+No.8)		3-5	6-7	8-9	10-11	12	3-5	6-7	8-9	10-11	12
			6.1%	32.4%	39.9%	16.3%	5.3%	8.1%	31.3%	35.3%	17.9%	7.4%
家族・友人からのサポート	15-(No.3+No.6+No.9)		3-6	7-8	9	10-11	12	3-6	7-8	9	10-11	12
			6.9%	13.9%	20.3%	28.4%	30.6%	4.4%	10.6%	16.0%	28.6%	40.4%
仕事や生活の満足度	10-(No.1+No.2)		2-3	4	5-6	7	8	2-3	4	5-6	7	8
			5.0%	12.3%	57.2%	17.4%	8.1%	6.4%	15.4%	57.8%	15.4%	5.0%

## 【参考文献】

- 1) 労働省. 平成 11 年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書（平成 12 年 3 月・班長加藤正明）
- 2) 厚生労働省「労働安全衛生法に基づくストレスチェック実施マニュアル(平成 28 年 4 月改訂)」
- 3) 平成 23 年度全衛連メンタルヘルスサービス実施結果報告書（平成 24 年 9 月・公益社団法人全国労働衛生団体連合会メンタルヘルス専門委員会）  
平成 24 年度全衛連メンタルヘルスサービス実施結果報告書（平成 25 年 9 月・公益社団法人全国労働衛生団体連合会メンタルヘルス専門委員会）  
平成 25 年度全衛連メンタルヘルスサービス実施結果報告書（平成 26 年 9 月・公益社団法人全国労働衛生団体連合会メンタルヘルス専門委員会）  
平成 26 年度全衛連メンタルヘルスサービス実施結果報告書（平成 27 年 9 月・公益社団法人全国労働衛生団体連合会メンタルヘルス専門委員会）  
平成 27 年度全衛連メンタルヘルスサービス実施結果報告書（平成 28 年 10 月・公益社団法人全国労働衛生団体連合会メンタルヘルス専門委員会）  
平成 28 年全衛連ストレスチェックサービス実施結果報告書（平成 29 年 8 月・公益社団法人全国労働衛生団体連合会メンタルヘルス専門委員会）

公益社団法人 全国労働衛生団体連合会

〒108-0014

東京都港区芝 4-1-5 田町ハラビル

TEL 03-5442-5934

FAX 03-5442-5937